



# NINJA SLAYER

volume 10

NINJA SLAYER

～ゲイシャ・カラテ・シンカンセン・  
アンド・ヘル(ニ)～

Geisha, Karate, Shinkansen and Hell

原作★ブラッドレー・ボンド＋フィリップ・N・モーゼス

漫画★余湖裕輝 脚本★田畑由秋

原作翻訳・漫画版監修★本兒有＋杉ライカ

キャラクターデザイン★わらいなく＋余湖裕輝

NINJA SLAYER

Kadokawa Comics

漫画村







## CONTENTS

ゲインシャ・カラテ・シンカンセン・  
アンド・ヘル (第二部より)

#5	003
#6	039
#7	075
#8	111

原作＋ブラッドレー・ボンド＋  
フィリップ・N・モーゼス

漫画＋余湖裕輝

脚本＋田畑由秋

原作翻訳・漫画版監修＋本見有＋杉ライカ

キャラクターデザイン＋わらいなく＋余湖裕輝



NINJA  
SLAYER

グワーツ！

イヤーツ！

キョート城 観戦の間

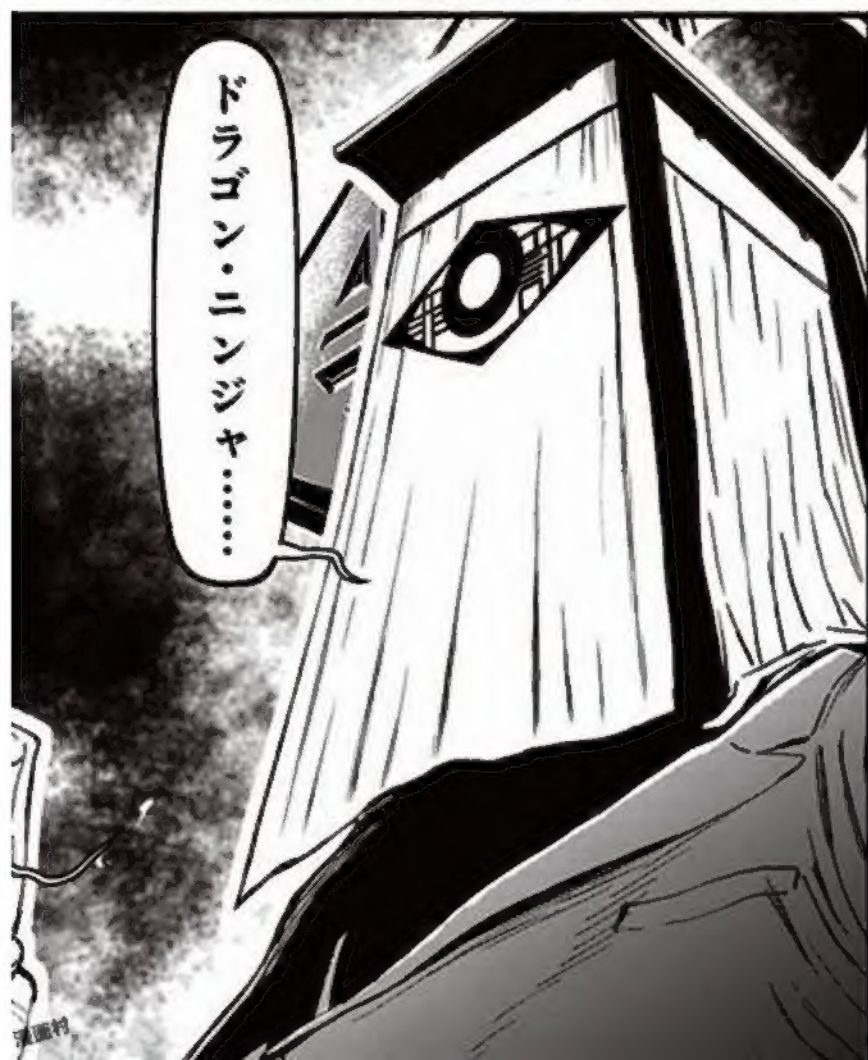
あれは伝説の  
カラテ技

ドラゴン・  
ウシロ・アシ！





ゲイシャ・カラテ・シンカンセン・アンド・ヘル #5



ドラゴン・ニンジャヤ……



マイロード

やはり格闘スタイルの一部に  
ドラゴンニンジャ・クランの  
それが混じっておりますな





パラゴンはLAN直結で  
機密ファイルにアクセス

グラディエイターの  
実力は低くありません

憑依ソウルはさほど  
強大ではありませんが

ムフオーフオーフオー……

ザイバツのハイ・テック  
侮蔑姿勢は徹底しており

グランドマスター位階で  
生体LAN端子を持つのは  
彼一人だけだ











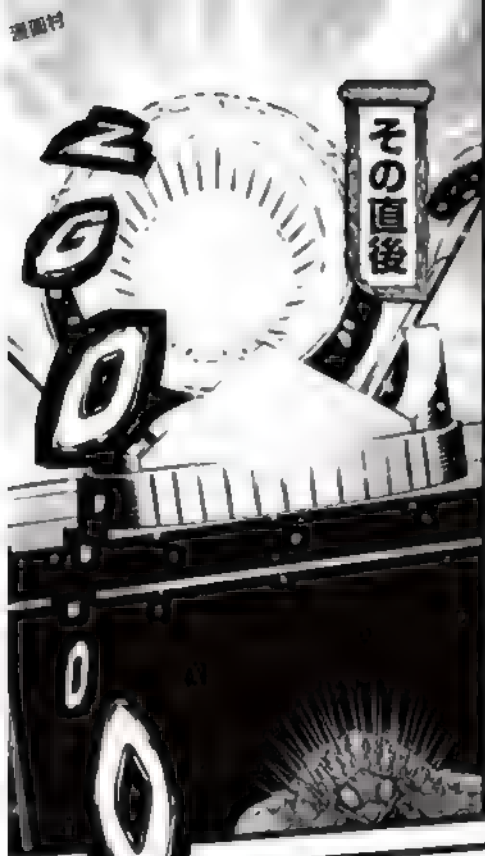
だが ナムアミダブツ!



ザイバツ・ニンジャ達の狡猾な包囲連携作戦はいまだ継続中なのだ!







その直後



ヌ…ッ

戦闘車輛コマンドルーム

サイバー車掌ハッキング吐血！

アバ…ッ!?





フルブースト!!!

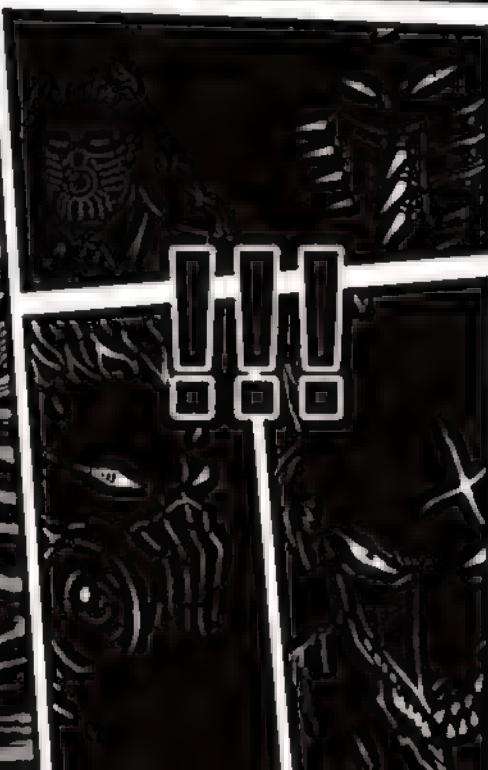
さしものニンジャスレイヤー  
とてこうなればもはや……

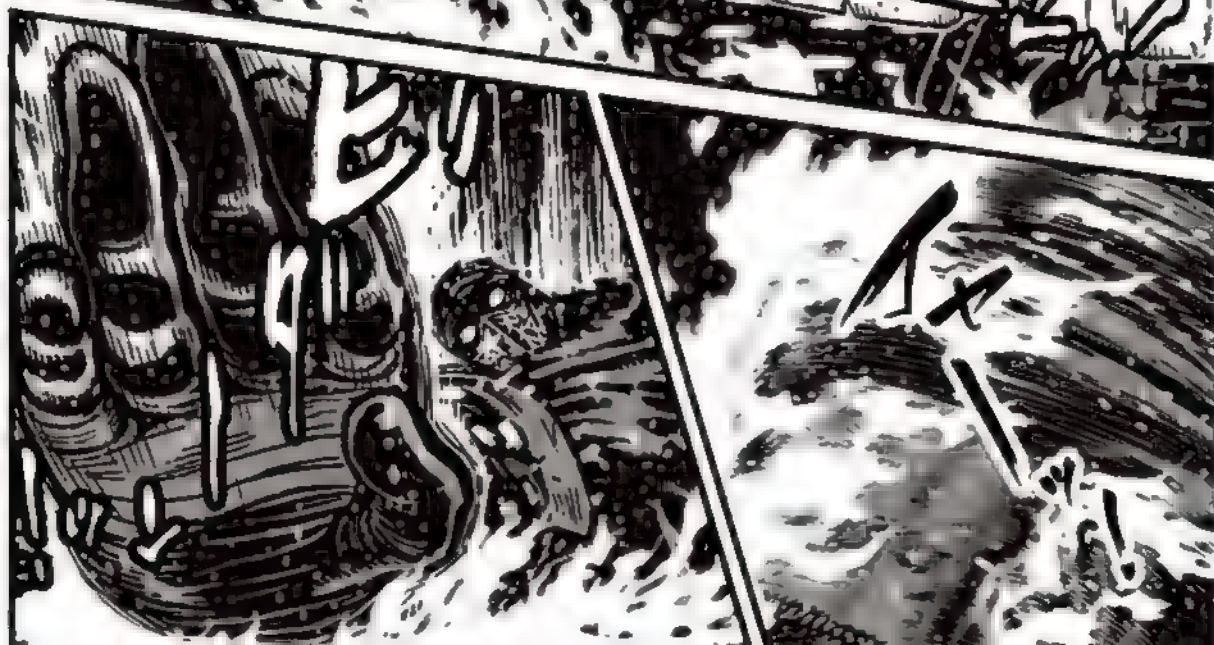






# 大型ジェットエンジン







あれはチャドローの奥義

グレーター・ウケミ!

物理的ダメージや  
熱エネルギーを  
タタミへと逃がす  
というのか!

見る間に  
炎が消える!

チャドロー!?

ムフォーフォー  
フォーフォー……

その技はすでに失伝し  
滅びたものと思われて  
おりましたが……

やはりドラゴン  
ニンジャ・克蘭……

しかし今が攻める  
好機なのは変わらない

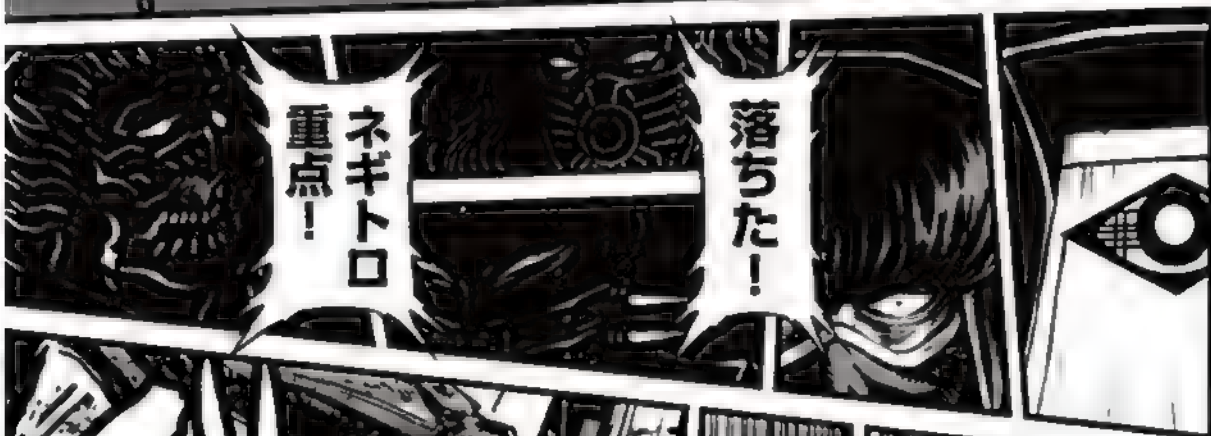
殺れ！ グラディ  
エイター！ サン

転がり回避！

だがここは新幹線！  
ドージョーではない！

転がり続けられ  
落ちてしまう！







うしろ



やつて



だ！



……なかなかのワザマエだな  
ニンジャスレイヤーさん  
敬意を表する

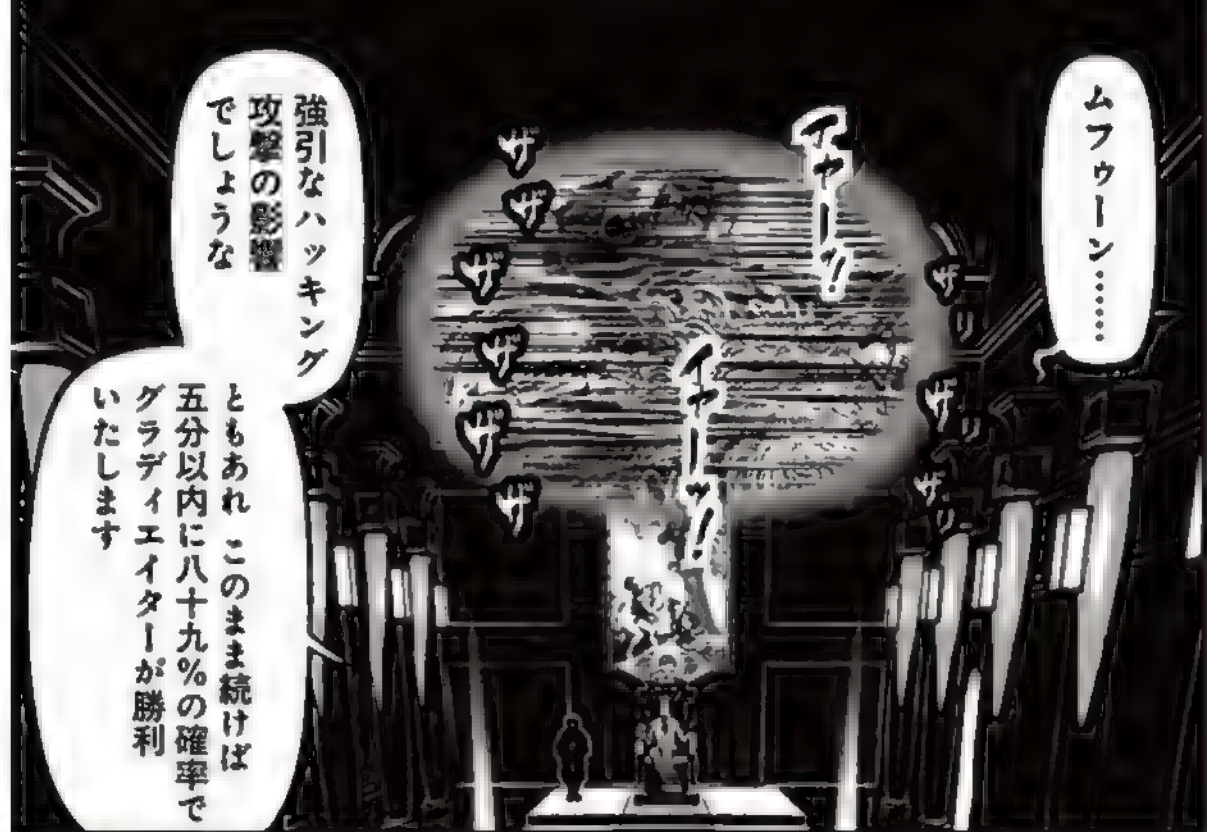
だが駆け引きが甘い  
集団戦闘の何たるかを  
知らんと見える！



このニンジャこそがチームの真の  
司令塔であり 無類の戦闘巧者…

カラテとハッキングの連携  
攻撃を断たねば勝利は無い！





ムフウーン……

強引なハッキング  
攻撃の影響  
でしょうな

ともあれ このまま続けば  
五分以内に八十九%の確率で  
グラディエイターが勝利  
いたします

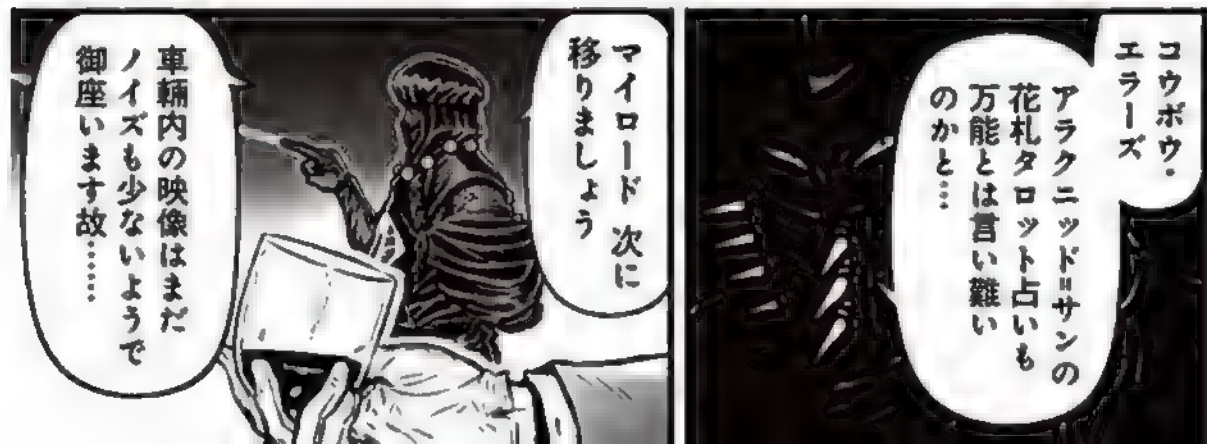


フォーフォーフォー  
良い余興であった

チャドーとは驚きましたが……  
ニンジャソウルの正体は  
不明のままでございましたな

……

ニンジャスレイヤー  
とやらの力があの程度  
であったとは……



コウボウ・  
エラーズ

アラクニッドリサンの  
花札タロット占いも  
万能とは言えない  
のかと……

マイロード 次に  
移りましょう

車輦内の映像はまだ  
ノイズも少ないようで  
御座います故……



アーレEEEEIIII!













ハ……ッ



ゲホッ ゲホッ

ヨイデワ・ナイカ!

ハアーツ!

ハアーツ!



ナスビは死の象徴 恐るべき暗示!

周囲には「オイランドロイドの残骸」

ああ……戻りたい！

あの穏やかな夜に！

ブッダ あなたは  
残酷なサディストだわ！

せめてあの夜に死んで  
いたらこんな想いを  
味わわずに済んだのに！

おお ナムサン！

ユリコは  
衆人環視の中

惨たらしく  
陵辱され

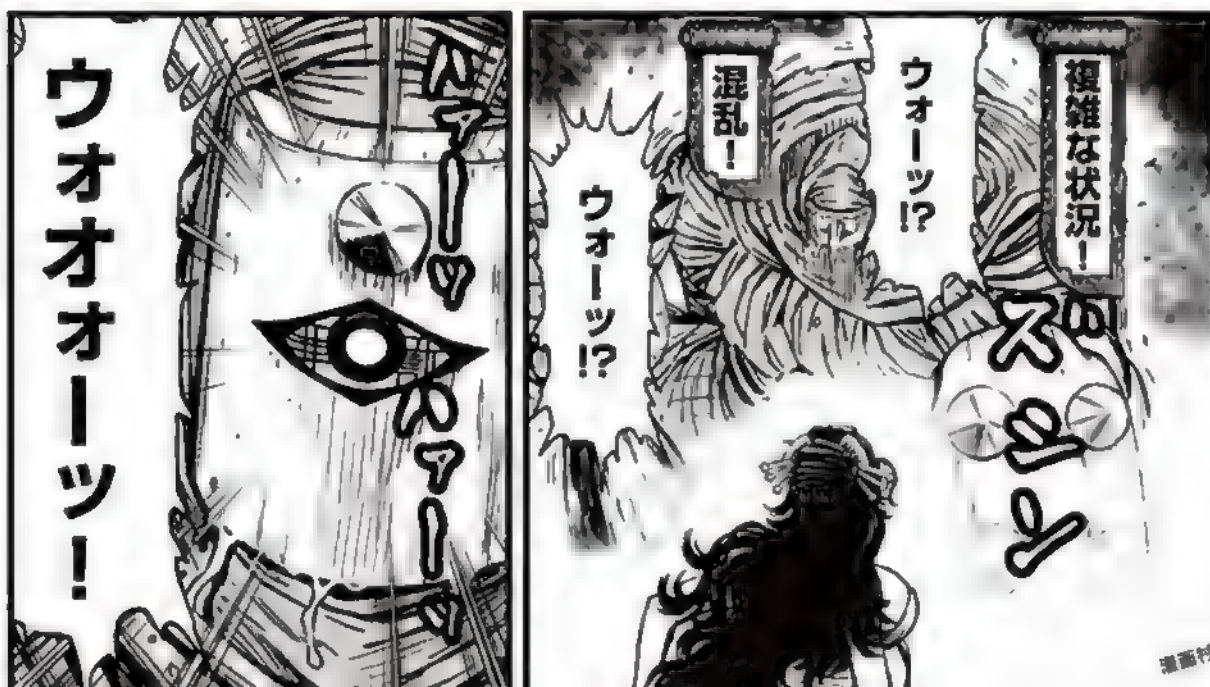
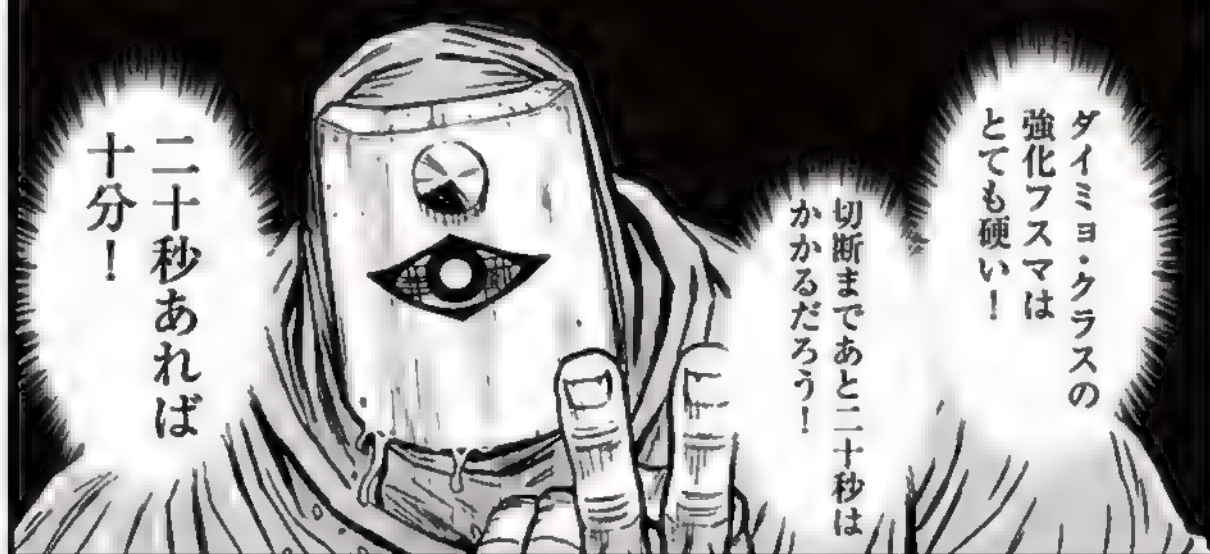
棍棒で撲殺される  
運命なのか？



その時!

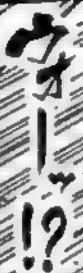
ズィィィィィィッ







ク  
シ  
た  
い  
!!!



无

**I  
R  
C!**

豐滿

内才

64

700



レッドゴリラ  
「サン！」

マスター・レッド  
ゴリラ「サン！」

俺に道を  
示してくれ！



…すれば…

ニューロンにアフレンティス時代 深く刻み付けられた師の残像が蘇る

ウォーツ！

健康

レッドゴリラ「サン！」

そしてサイクロプスに告げる



何事も暴力で

解決するのが一番だ

健

康

サイクロプスの  
迷いが消えた！

最初にジェノサイドを  
ファックすればいいと  
いうことか！







俺は……

ジェノ  
サイドだ！



ゲイシャは  
渡さんぞ！

思い知ったか  
死にそこないめが！



生きていたか……！

奥からユリコの  
絶叫が聞こえる

ジェノサイド  
さん！



あのゲイシャは俺が  
ファックして  
解体してやる！

喰らえ  
棍暴力！



スゴイ威力!

だが



おお 何たるソンビー  
ニンジャの耐久力!

そんなに  
この棍棒が  
大事なのか?

そして筋力か!



ウォーツ

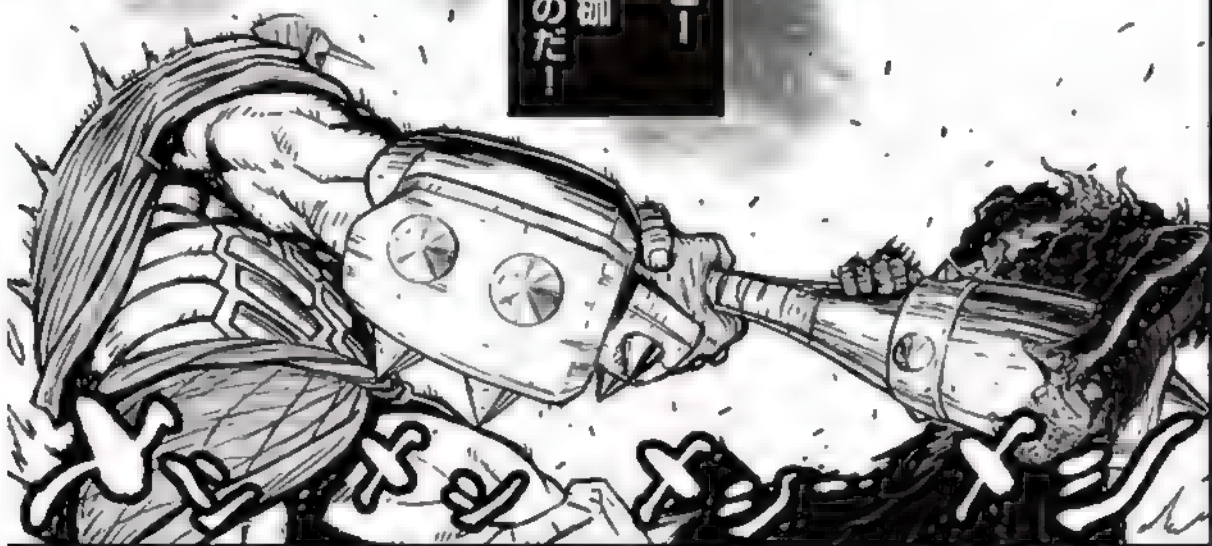
動かぬ!

これぞネクロ  
カラテの真髄!

人間は肉体の自壊を  
防ぐため筋力を抑制  
しており 潜在能力の  
数%しか力を使えない

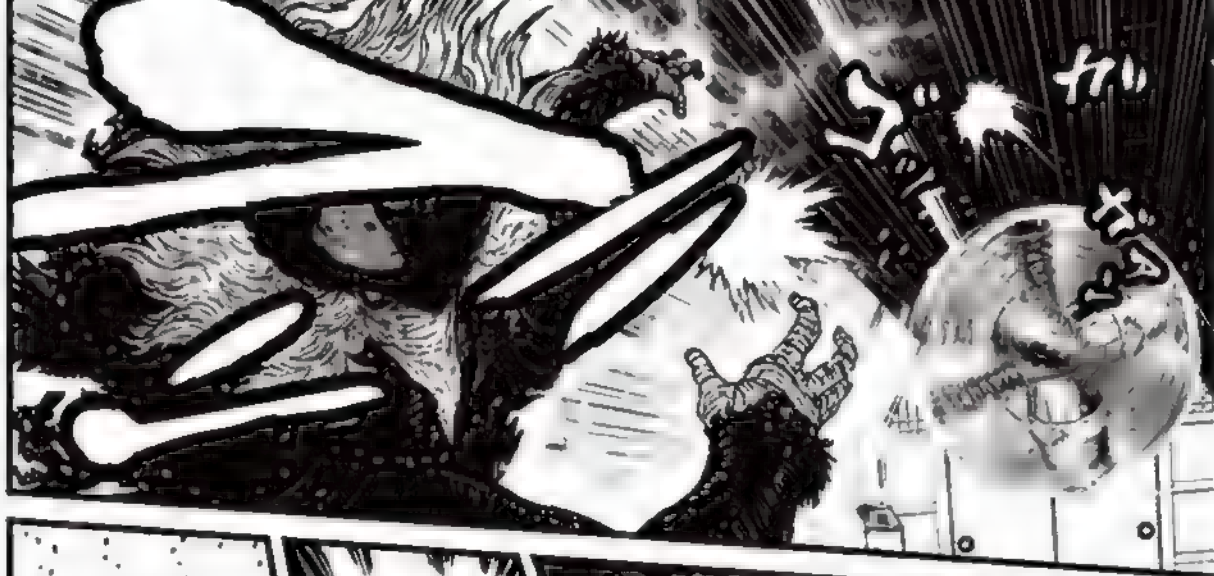


だが「ゾンビー」  
ニンジャに  
そのような枷  
などはないのだ！



純粹な力比で  
闘き合う！  
腕力は互角……





俺の暴力が！

俺の暴力が通用…しない…

ズン

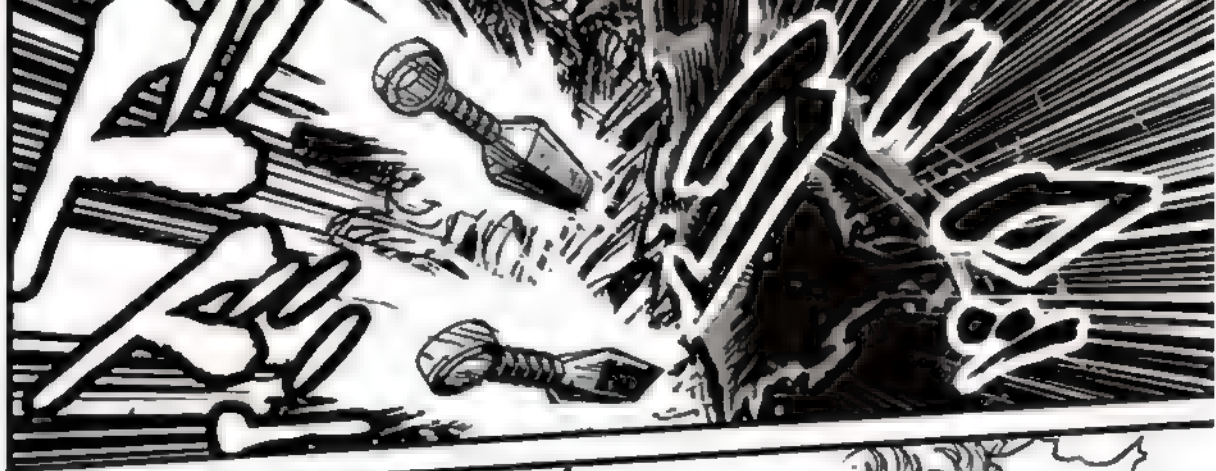
だど!?

今から解体  
してやるぜ…

お前を！







しかもアンタイ・ゾンビー・  
ウィルスが塗布されたものだ！

相撲バーの戦いではこの存在を  
知らぬゆえに敗北を喫したのだ



投擲者はフオビアだ！

死体のくせにあのゲイシャと  
ネンゴロ・リレーションシップか？

あの女は  
ファックして殺す

後でリー先生に  
ゾンビー仲間に  
して貰えよ！

ジェノサイド  
「サン！」



ジェノサイド  
「サン！」



ジェノサイド  
「サン！」



一方その頃 屋根の上でも熾烈なイクサが終局を迎えようとしていた



四度目の

イヤッー

イヤッー

イヤッー

ジェットブースト回避！



オのサシ！ どう切り抜けるというのか！





ウィルスにジェノサイドの全身に  
行き渡らせるには さらに数発の  
クナイを撃ち込む必要がある！

容赦なくクナイ  
ダートを投擲！

# NINJA SLAYER

ゲイシャ・カラテ・シンカンセン・アンド・ヘル #6







おい!

ゾンビーのくせに  
知能を使ったぞ!

サイクロプスサン



これで俺の  
暴力は無敵だ!

素晴らしい凶悪棍棒を完成させた!

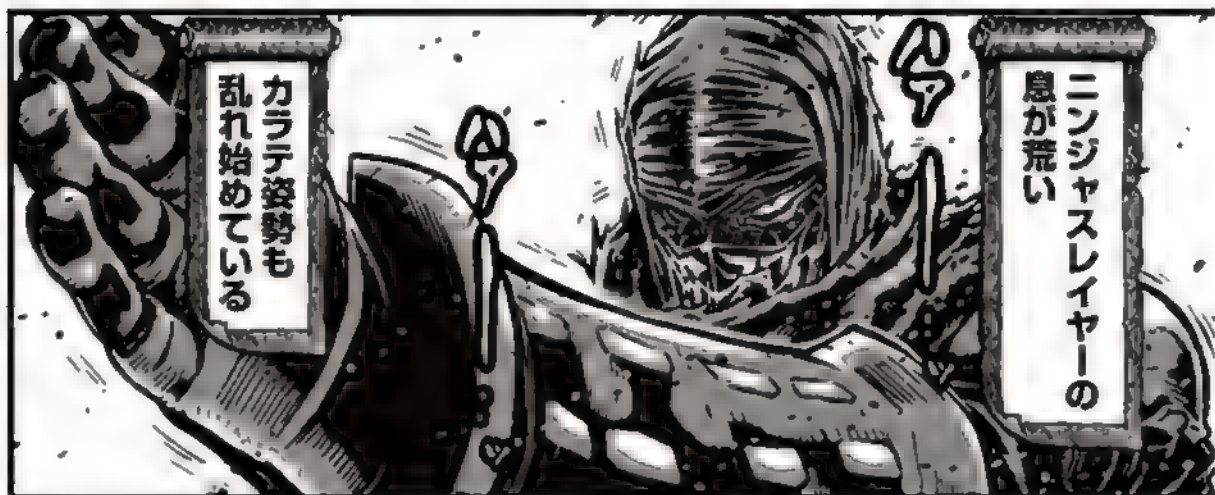
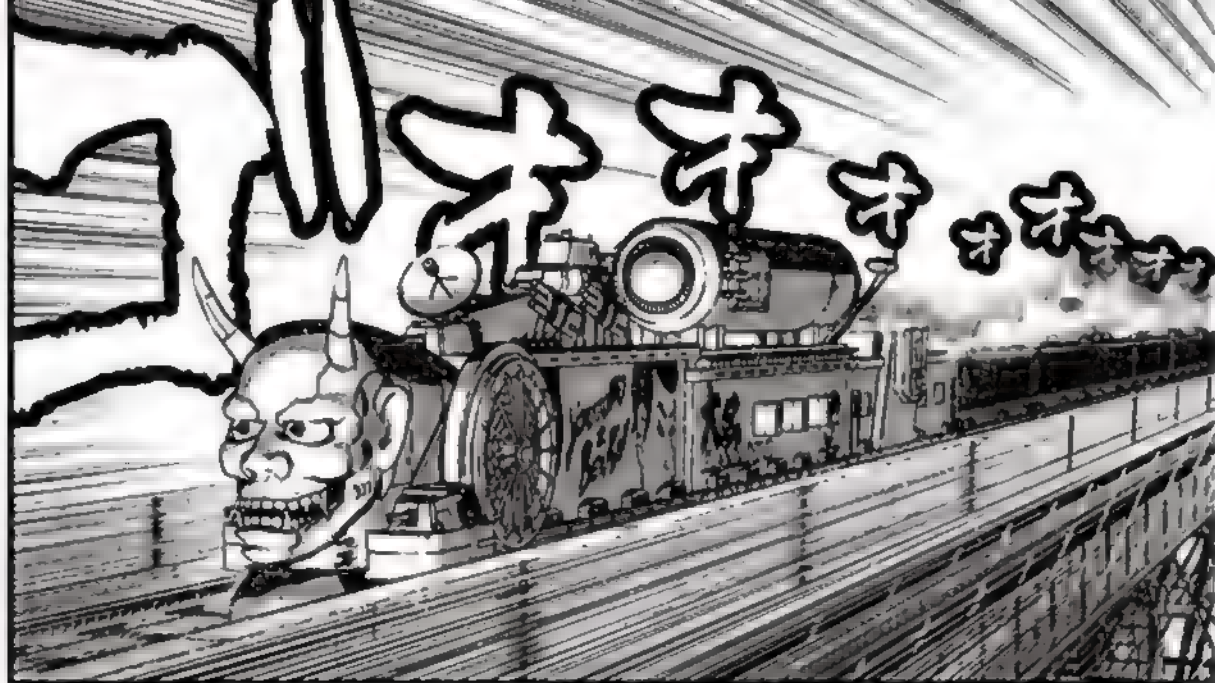
サイクロプスは  
棍棒を拾い直し

ウォーッ!

ウォーッ!

フォビアから  
提供されたクナイを  
ねじ込んでいた

そして



カラテ姿勢も  
乱れ始めている

ニンジャスレイヤーの  
息が荒い



敵の連続攻撃を  
未だ打破できず

チャドー呼吸を整える  
時間すら無く  
体力が削られていく



ここで再び  
グラディエイターが  
空中へと跳躍！

#NSBP\_ZAIBATSU:GRADIATOR:もっと火力をいれて最後にするぞ！

#NSBP\_ZAIBATSU:HEDGEHOG:.....出力最大で必ず焼き払う！





ダイミョ・クラス車輛





そこにはY&B社  
車掌補佐オイラン  
ドロイドの

奥ゆかしい  
ドゲザ姿！



ハッキング攻撃下で  
サイバー車掌が百%  
死傷いたしましたので

制御困難な状態です

このままでは本車輛は  
時速一千キロメートルで  
ガイオン・ステーションに激突し



爆発ドスエー！





驚愕の報告に狼狽する三人!





サイオー・ホース！  
私は逃げますよ！

サイオー・ホース！  
私は逃げますよ！

モモロ・サン  
オタツシャ…

だが命令は  
厳守

アイエエエエ！

ナンデ！？

スズキはパニックだ

サイバーゴスの  
ダテは死んだ  
友達の思い出を  
脳内記憶素子で  
網膜再生

唯一ユリコだけがこの絶望的  
状況の中で足掻き続けていた！

考え  
ないと

打破する方法を  
考えないと

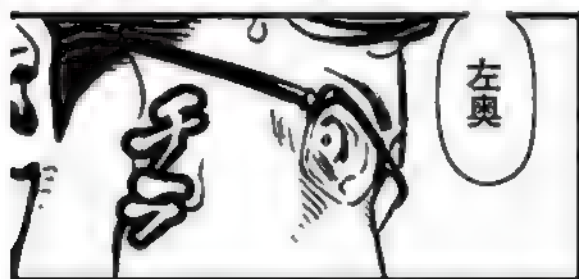
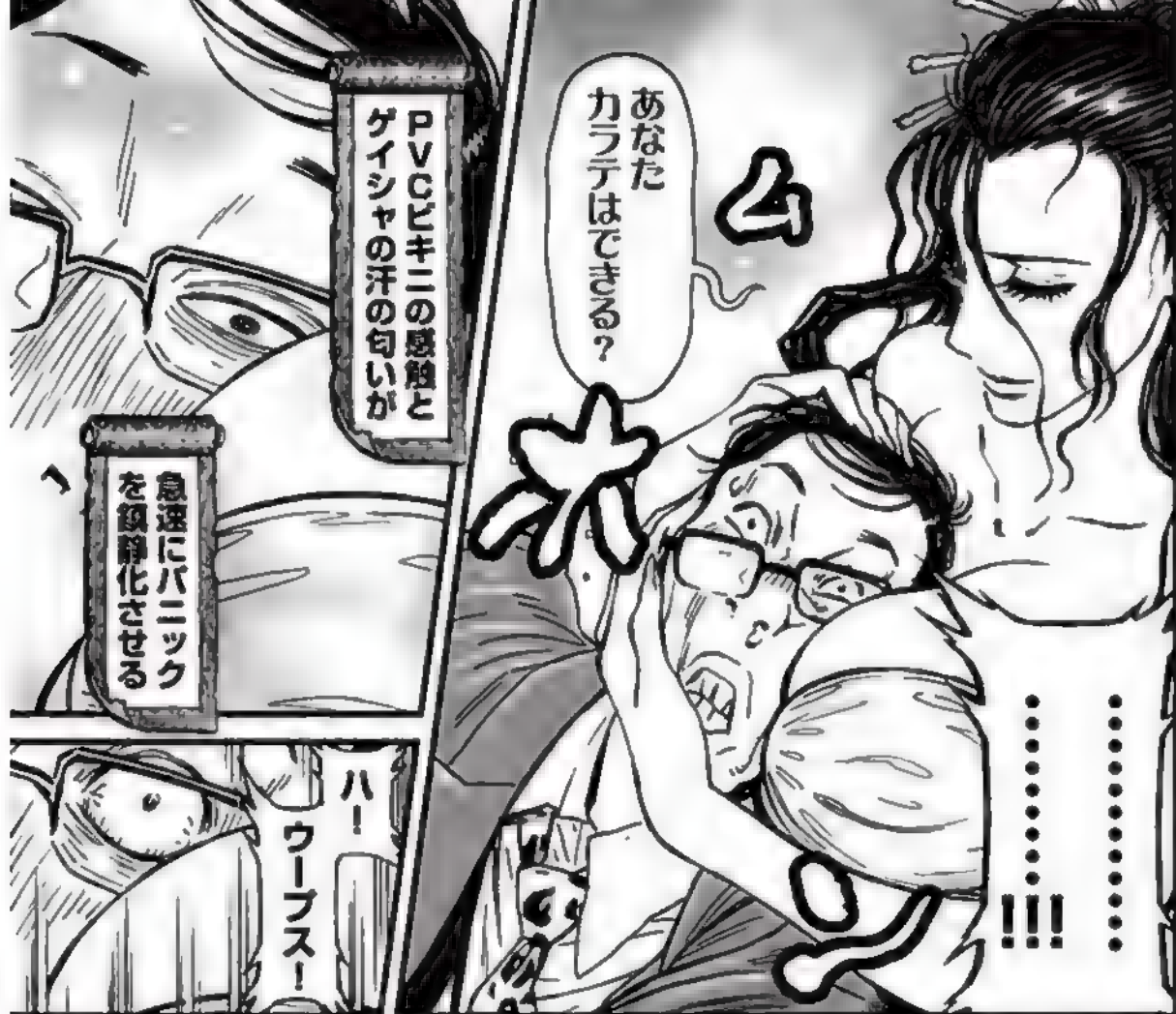
ジエノサイド”  
サンが殺される

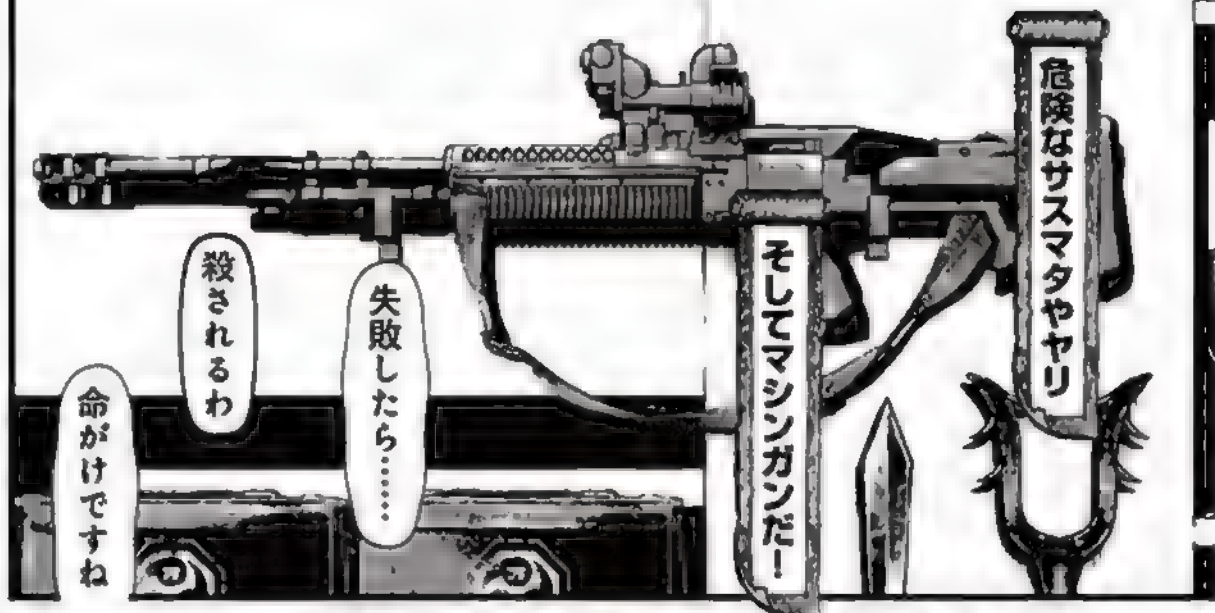
ヤマモトリサン…

あきらめの  
境地か











何故こんなにタフに  
振る舞えるの？

惚れた男が  
近くににいるから？

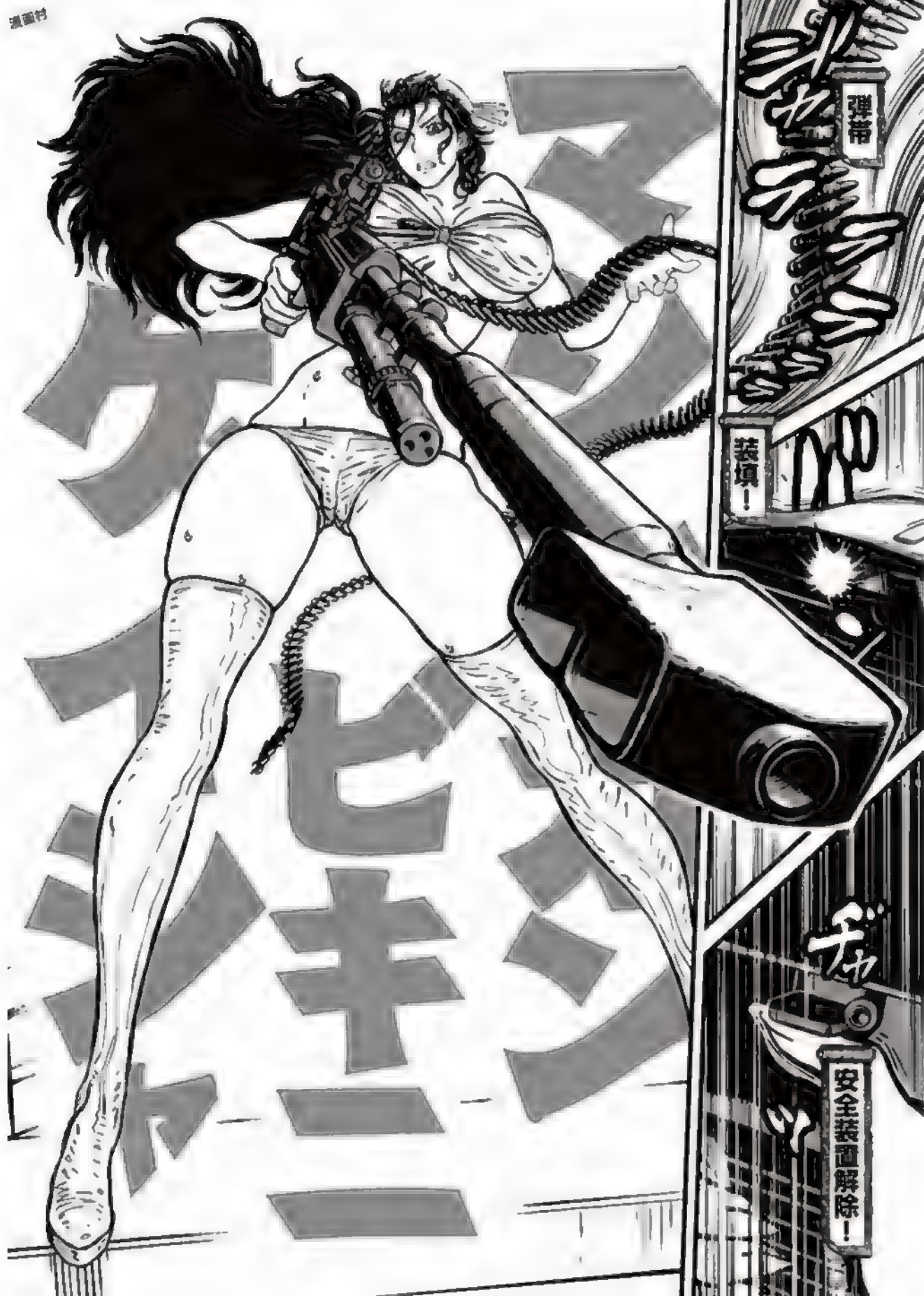
後で考えればいい

そっ……

やるわよ

ウオオオオオーツ！





弾帯

装填!

チカ

安全装置解除!











懐かしい感触



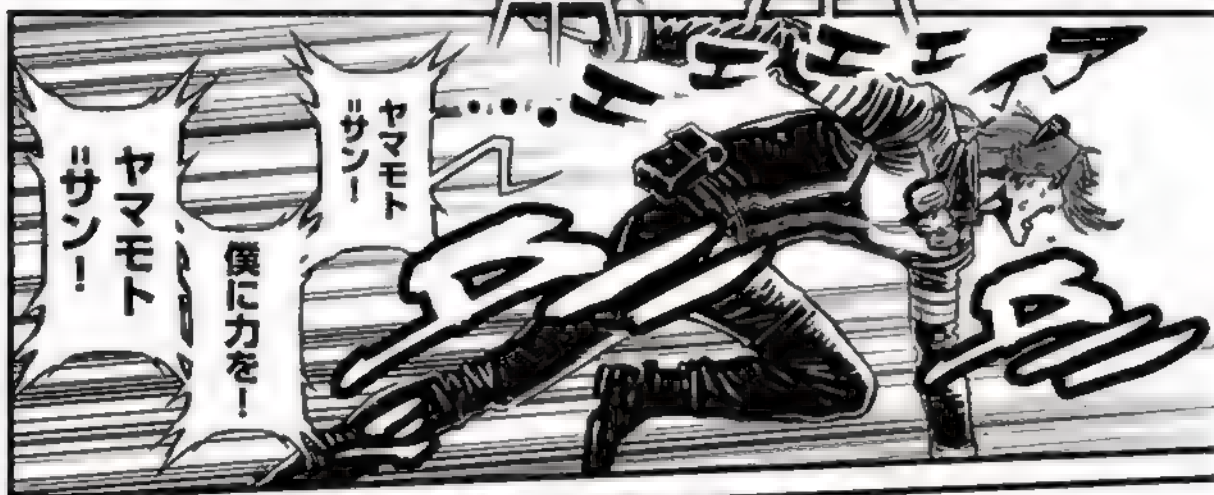
戯れで撃ち方を  
教えてくれた  
あの男

自分を置いて  
先に逝った

あの男の…











ハアーツ！ハアーツ！

何でニンジャなんかと関わら  
なきやいけないんですか！



どのクラスも  
平等に  
リスクを負う？

イデオット！

そのリスクを  
回避するために  
金を払ってるん  
だ！



ここか！

よし！

明らかに  
脱出装置！



死んだら終わり

モモロッサン！  
残念でしたね！



ドクダクダク





ショッキョ・ムッジョ!



—RC連携によってこの  
限界噴射攻撃を空中へと  
逃れたグラディエイター—

そして  
ヘッジホッグ!



さすがに今回は  
俺も下には  
アブナイだ

さらに俺も跳んだ  
ことによりニンジャ  
スレイヤー・サンも  
必ず釣られて跳ぶ

そして

\*NS893\_ZAIBATSU:HEDGEHOG:こちらが先に着地する！

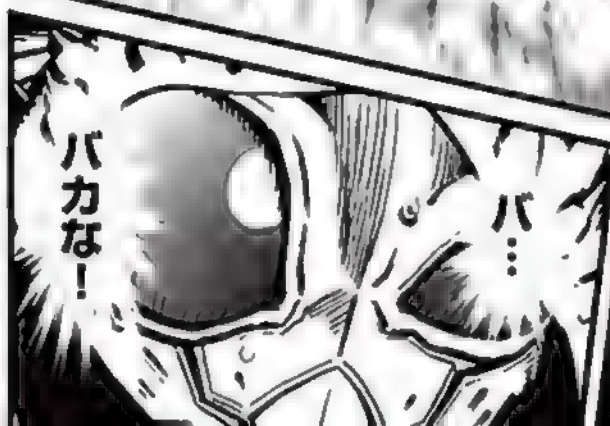
\*NS893\_ZAIBATSU:GRADIATOR:着地狙いグラディウス・ドーで殺す

さあ跳べ  
ニンジャスレイヤー  
サン

だがニンジャスレイヤーは  
上空に姿を現さない！



#NS893\_ZAIBATSU:GRADIATOR:あれを見ろ、ヘッジホッグ=サン!



ヘッジホッグは  
サーモセンサが備わった  
サイバネ義眼で真下を見る



そこにはナノカーボンタタミが屏風の如く屹立し

ジェット噴流を受け流していた！

ナノカーボンタタミは  
軌道エレベータ用に開発  
された夢の新素材であり

高い耐熱性能を  
持つのだ！

何たる機転！

そうそのタタミを  
背負うのは無論

ニンジャスレイヤー！

神秘的正座姿勢！

そしてその  
静謐なる息づかいは

スウーッ！

ハアーツ！

スウーッ！

ハアーツ！

チャドー呼吸！





見よ 伝説のカラテ技



サマーソルトキック!



おのれニンジャ  
スレイヤーサン!

突撃を敢行! だがその時

舞い散る雅な

桜吹雪!

新幹線が人工桜コリドーに突入したのだ!



ニンジャスレイヤーは鶴めいて着地



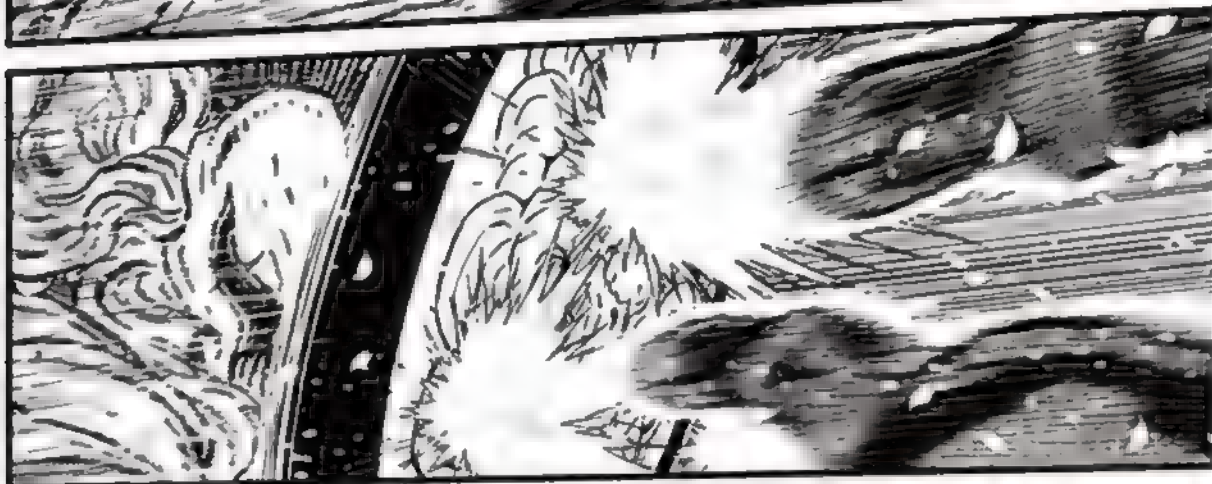
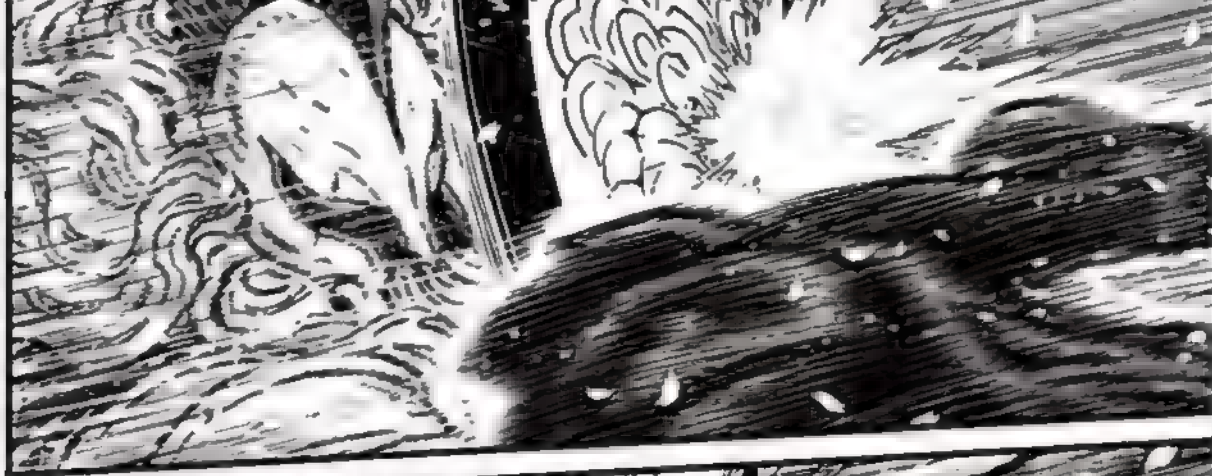


桜吹雪を纏い首狩り高速回転!



これはチャドーの大技

タツマキケン





かの哲人剣士ミヤモト・マサシは  
「キョートは時間の流れが遅い」との  
コトワザを詠んだ

彼もまた平安時代に舞う桜吹雪の中で  
高速戦闘を繰り広げるニンジャの姿を  
見たのであろうか

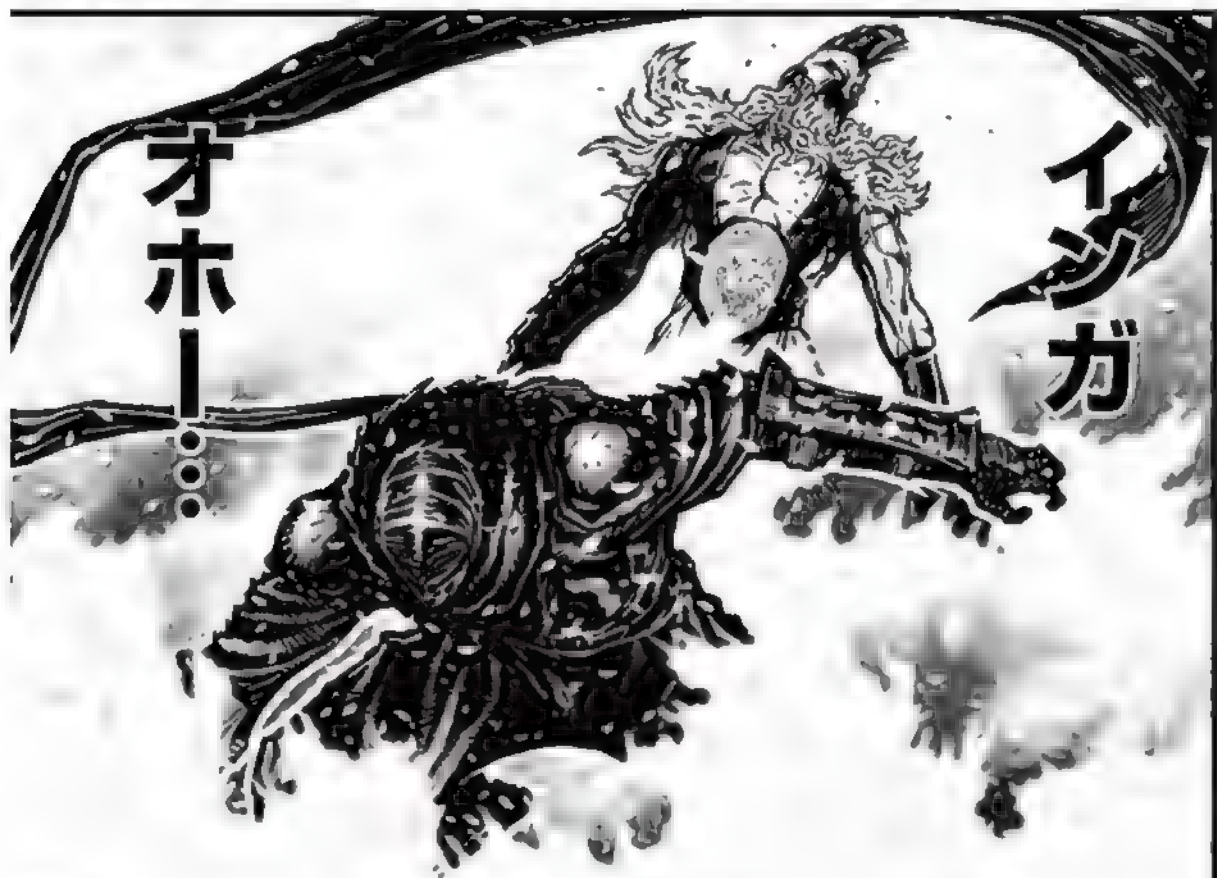




二七〇度回転！

首が







脊椎に致命的な  
損傷をうけ「なお

グラディエイターは  
辛うじて  
意識を保っていた



まだ殺さん オヌシには  
聞きたいことがある



あの夜のことを

マルノウチ抗争の夜のことを



NINJA  
SLAYER

中階層のテンプラ屋を  
爆破したのは……

マルノウチ抗争の  
夜のことを

あの夜の  
ことを

また殺さん

オヌシには聞き  
たいことがある



オヌシか……？

お俺は確かに……

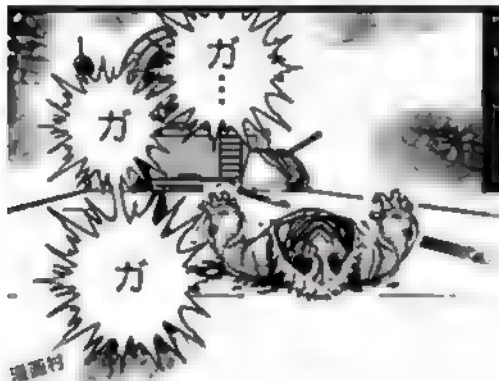
マルノウチ抗争に参加した

……だが お前の事  
など知らぬ

俺は  
あの夜……

その後方  
では……

本能的恐怖に  
吞まれたグラディ  
エーターは不眠  
そうに話し始めた



# NINJA SLAYER

ゲイシャ・カラテ・シンカンセン  
アンド・ヘル #7

ヘッジホッグの  
千切れた上半身が

気が狂ったように  
バンザイ動作を  
続けていた！



…ツエツペリン空挺部隊に  
加わり 屋上から侵入し…

ガハッ！

……ガ

ンバル  
ゾー……

ヘッジホッグが  
最後のIRCを  
送信しながら  
殲滅した

カッ

ズグ  
ズグ  
ズグ

ズグ  
ズグ  
ズグ

ゴ

タ

ラ

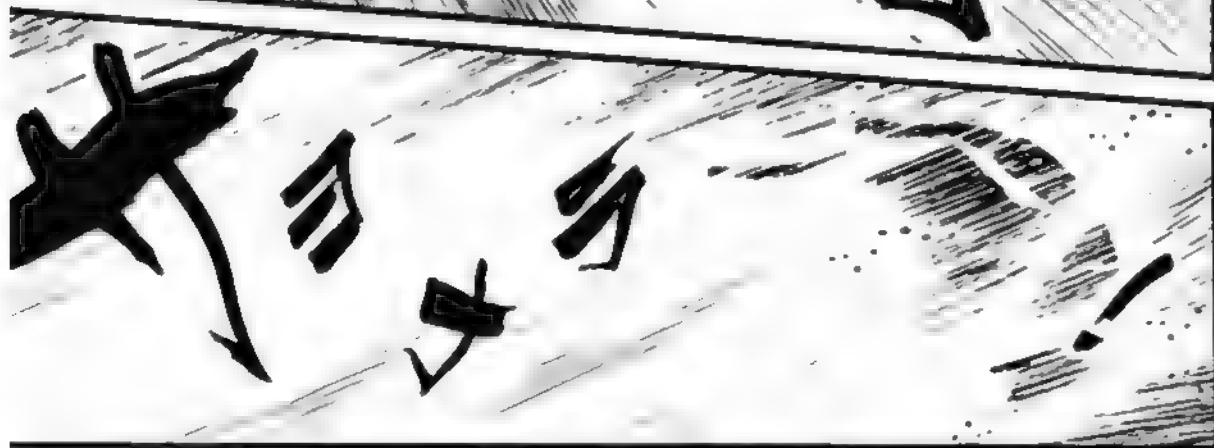
ッ

カ

!







それはニンジャスレイヤーを舞り去るうとする

ヘッジホッグの最後の執念であつたが……

ネオサイタマの死神を殺すに至らず！







アイエッ!



メインフレーム  
から火花

吐き出される  
パンチドテープ



完全にアブナイ



ヘッジホッグの強引なハッキング  
によりNS893便の  
サイバー車掌は全員死んでいた

小さく失禁するダテ



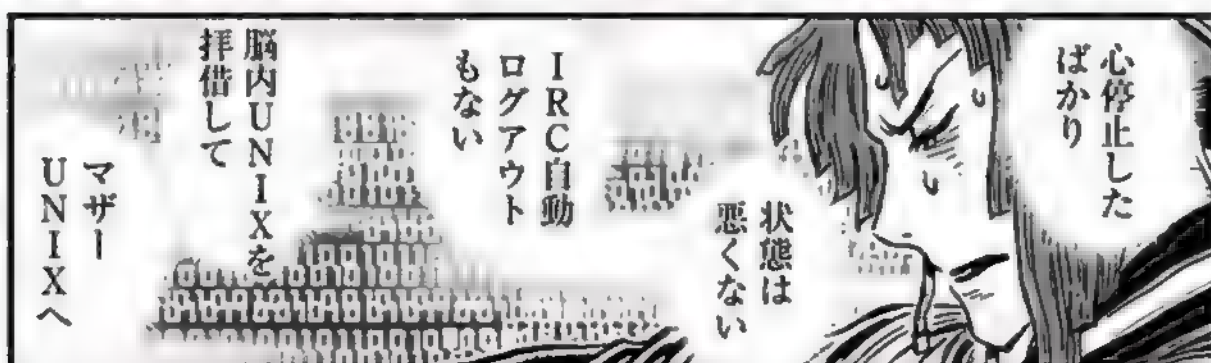
生き残った乗客  
たちは祈る!

カチグミも



マケグミも

この異常事態に





制御率未だ七十五%!

MAX 75%  
制御不能

爆発は避け得ない!

どうしろって  
言うんだよ!

直結を維持しろ  
ってのか?

それも…

二人のサイバー  
車掌に同時に!?

駄目だ!

絶対に僕のニューロンが  
焼き切れる!

データの能力は低い

最悪目に見ても  
スゴイ級ハッカー程度

奇跡が起ころめ限り  
新幹線の停止は不可能

そしてOとIが支配する  
世界において奇跡などという  
要素は望むべくも無い

それでも

サイバーゴスという輩は電子の奇跡を夢見がちなのだ！

社会の底辺に  
位置する僕が

何万もの市民を  
ハッキングで救い

英雄として  
讃えられる！

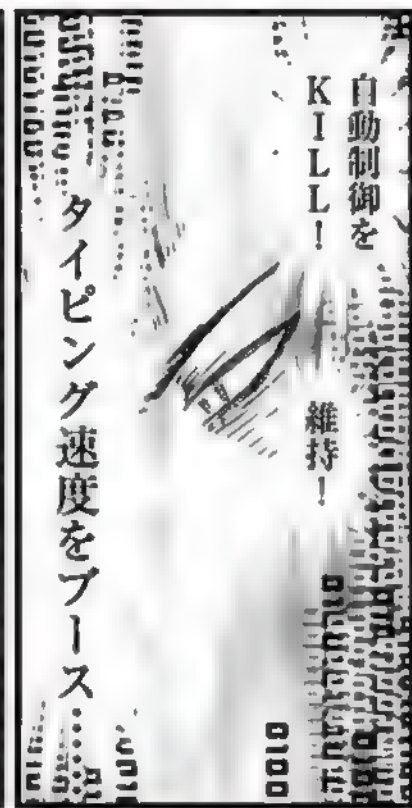
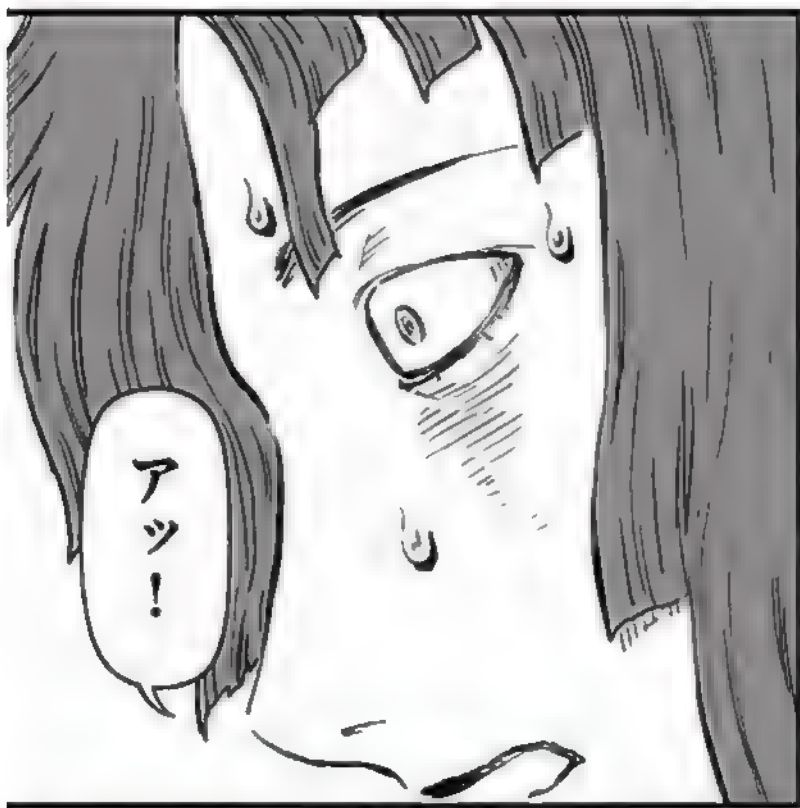
そして最高級のオイラン  
ドロイドを授与される！

若いハッカーならば誰もが一度は夢見るシチュエーション！

よし

見せてやるぞ……！！





不意に ダテの視界が飛んだ





はるか上空には

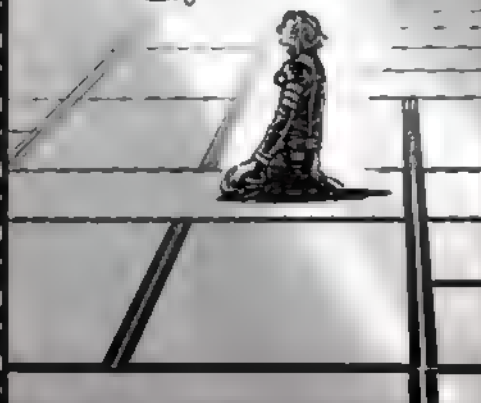
何だろう……

…アレ？

ニューロンが上に引っ張られる感覚

……

電脳コトタマ空間に迷い込んだのだ



その六十秒前 ダイミョ・クラス車輛







これが  
ニンジャの戦い

狙いが  
定まらない

ジェノサイドサン  
にあたってしまう

トリガが引けない……っ

撃て！

俺は死なん！

ユリコさん！

撃て！

撃てーッ！

意を……

決す！





B

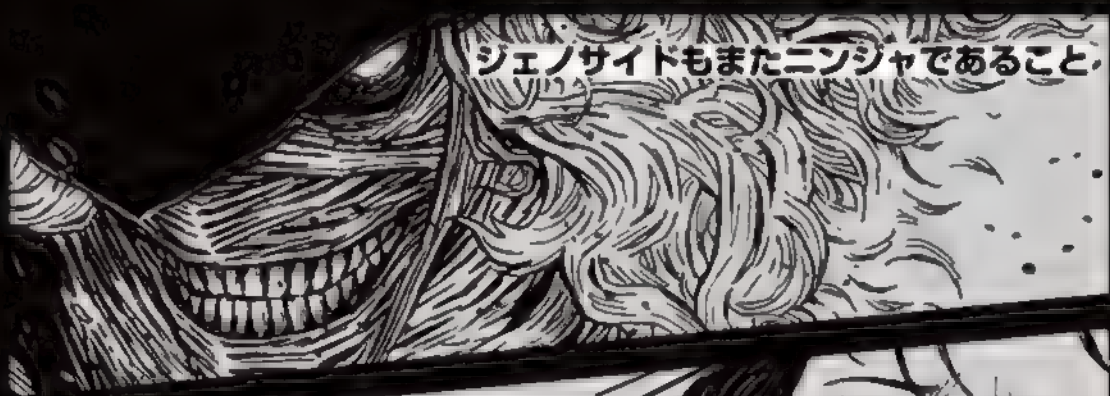
A

A

A

弾丸は撒かれ  
弾丸！

弾丸は撒かれ  
弾丸！



ジェノサイドもまたニンジャであること、



ゾンビーめいた醜い体を持っていること



彼女の盾となり 身を守ってくれたこと!



**殺せ！**

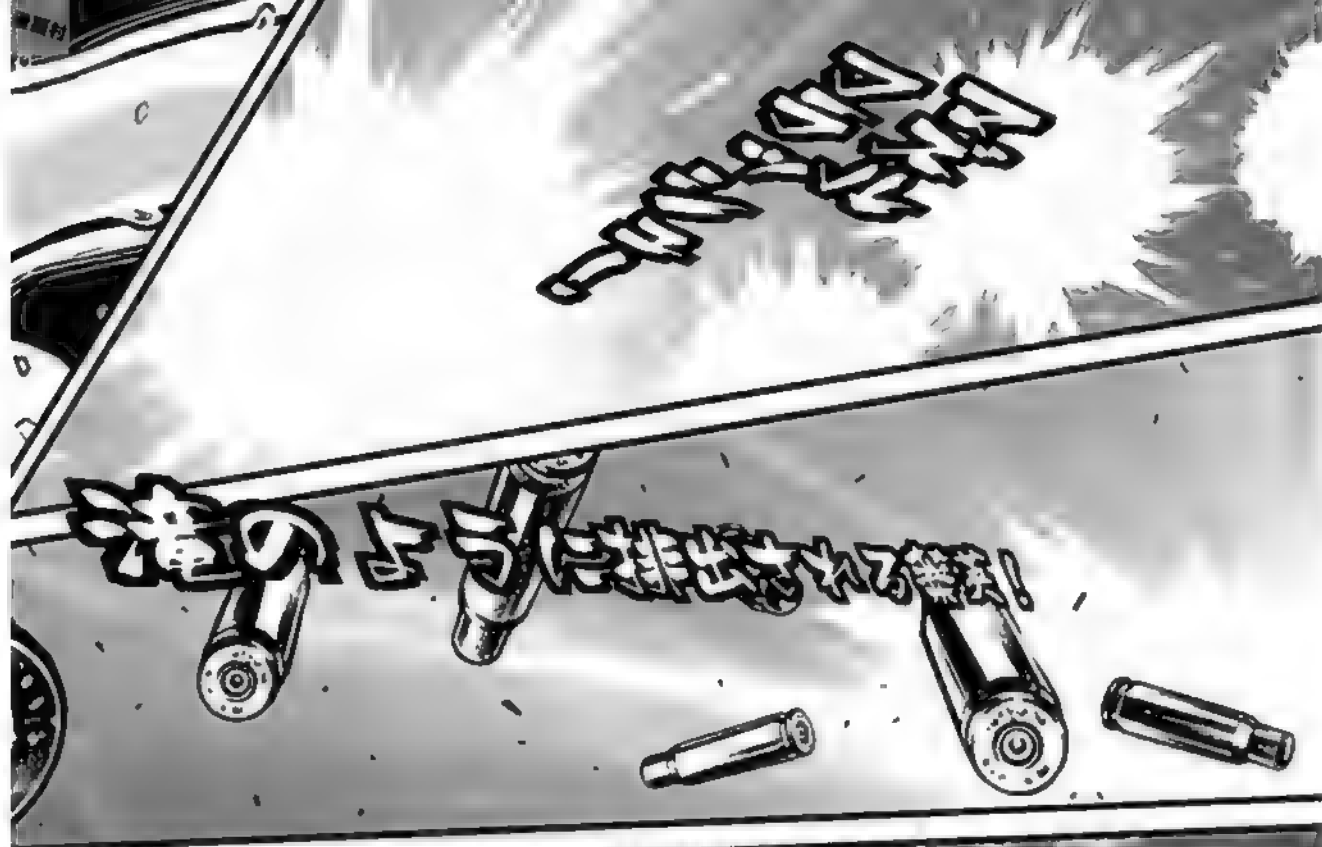
**ジェノサイドサン！**

**殺せ！**

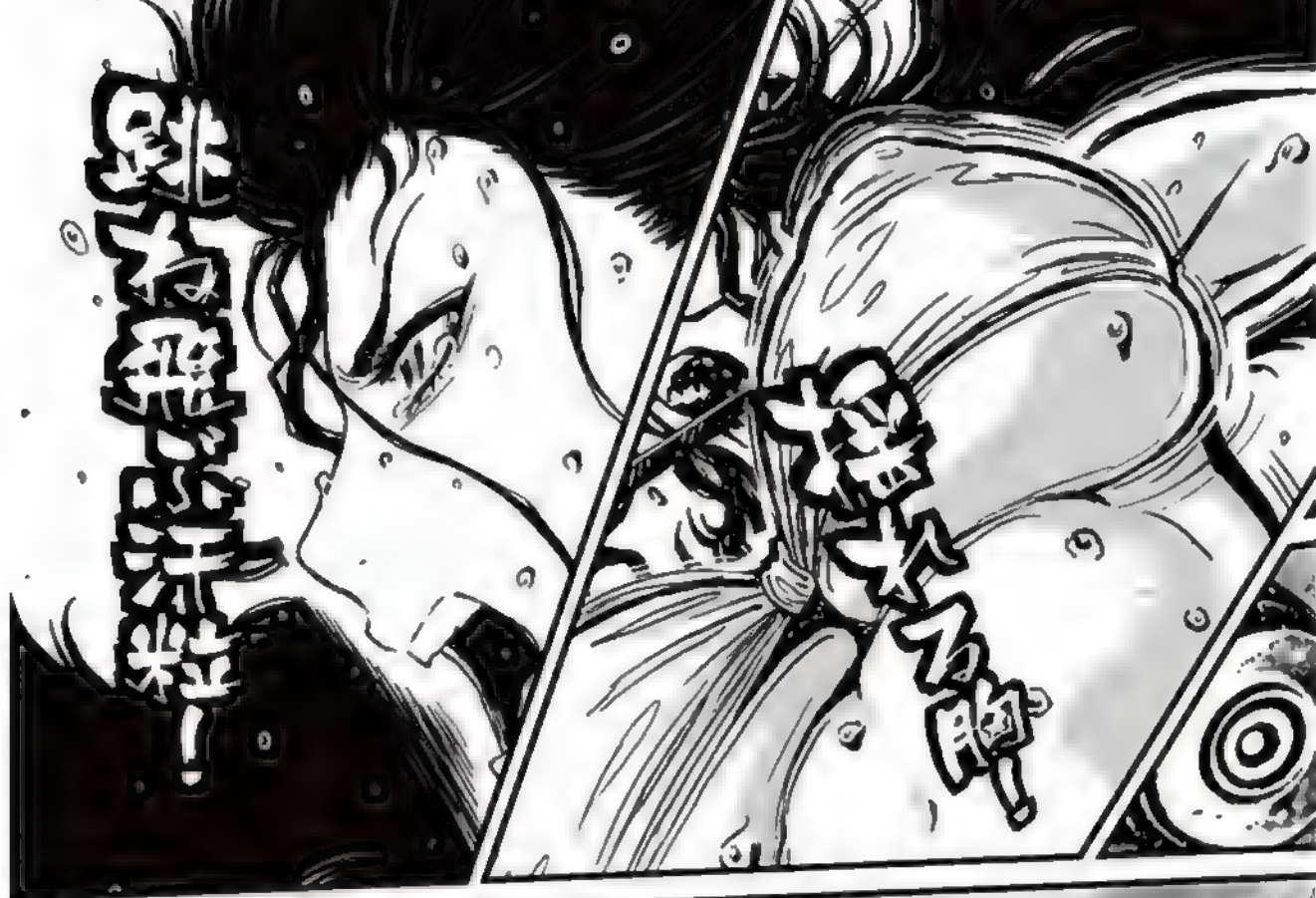
**そいつ  
らを！**

**皆殺しに！**











躲さねば当たる

当たれば痛い

悪ければ死ぬ!



だが…

ジエノサイドは!?

関係ねえ!



フォビア撤退！

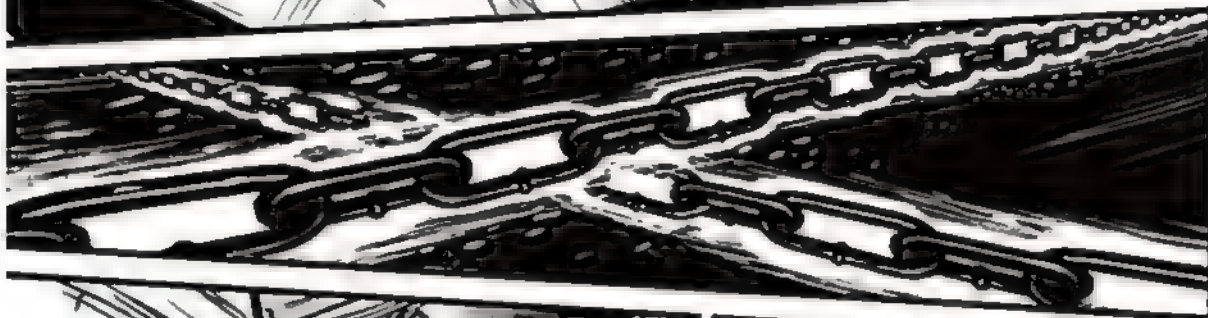
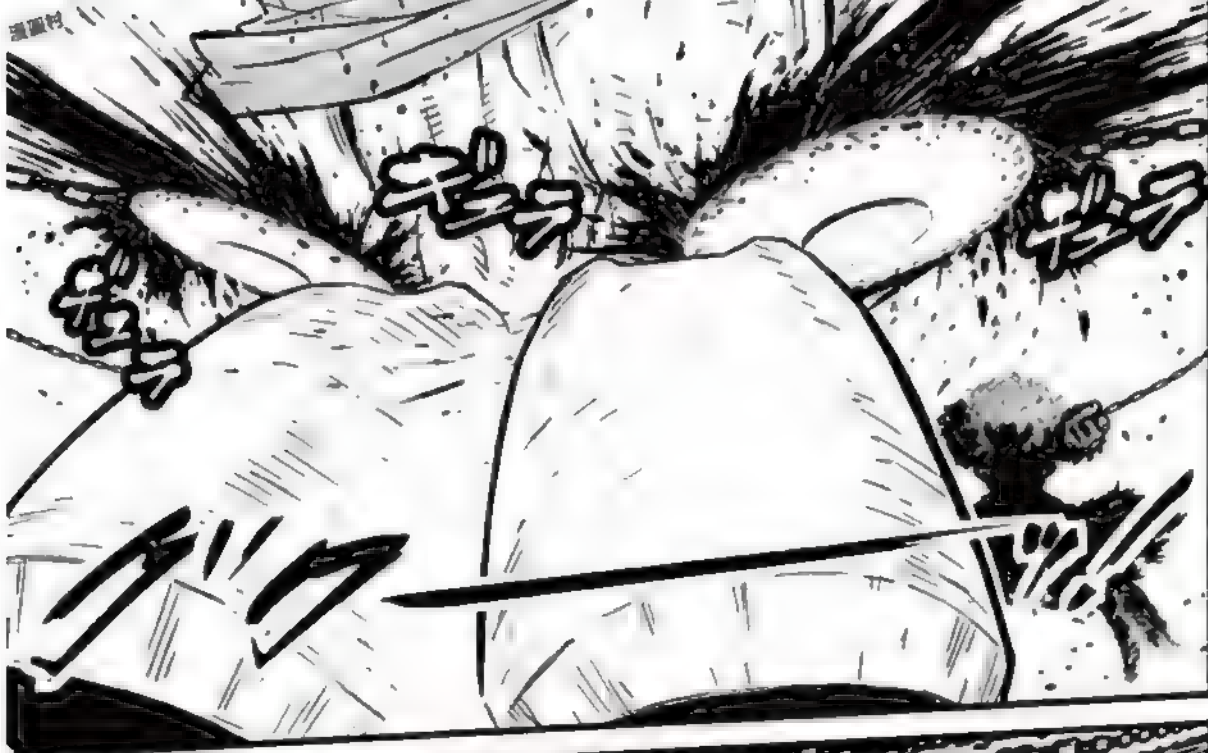
いかなニンジャとて  
車輦内に撒き散らされる弾を  
回避し続けるのは不可能！

この隙によるアドバンテージはニンジャのイグサにおいて

絶大







ニンジャ動体視力を持つ目には



忌々しいほど正確に弾の軌跡が見えていた



ジェノサイドの顔面に  
突き刺さる弾丸が

持っていられる  
バンダナが

そして

そして







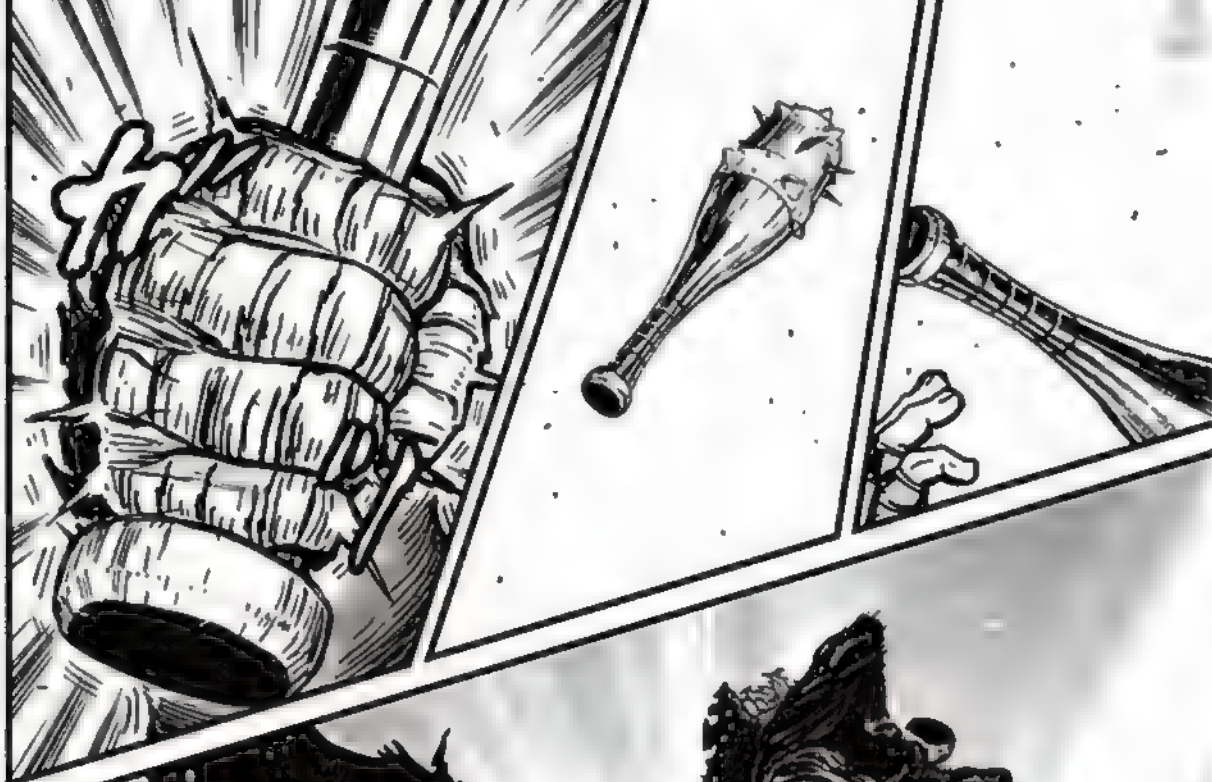
サイクロプスは恐怖した  
ゼツメツ・ニンジャのソウルが彼のニンジャソウルを威圧しているのだ!













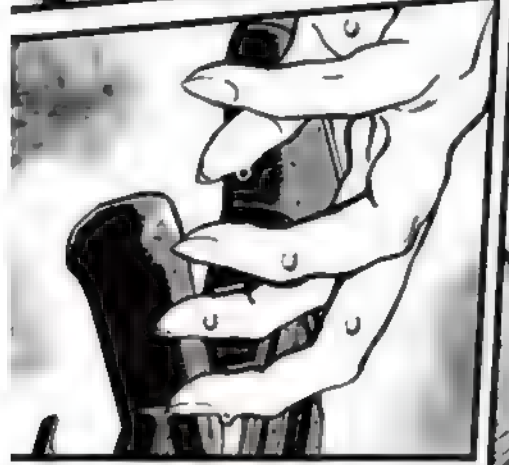






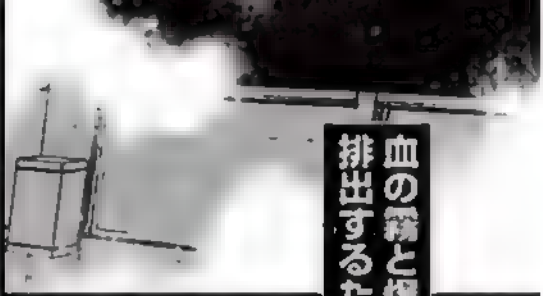
# 爆 発 四 散

!



ゴッゴ





血の霧と爆煙を  
排出するため



装甲窓が開き



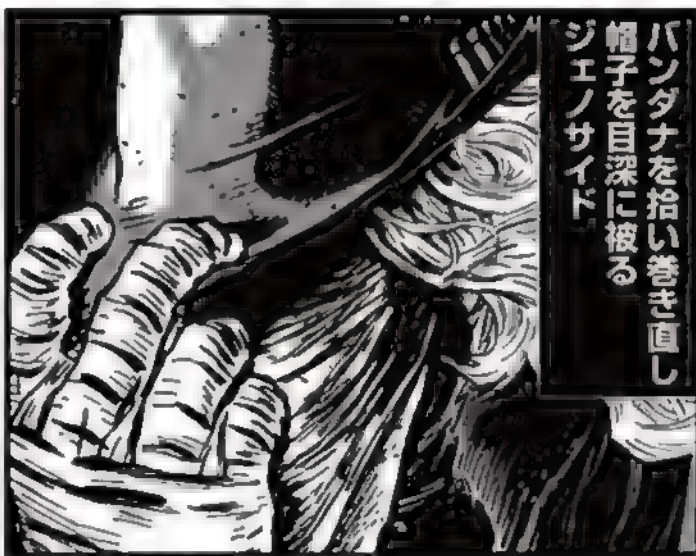
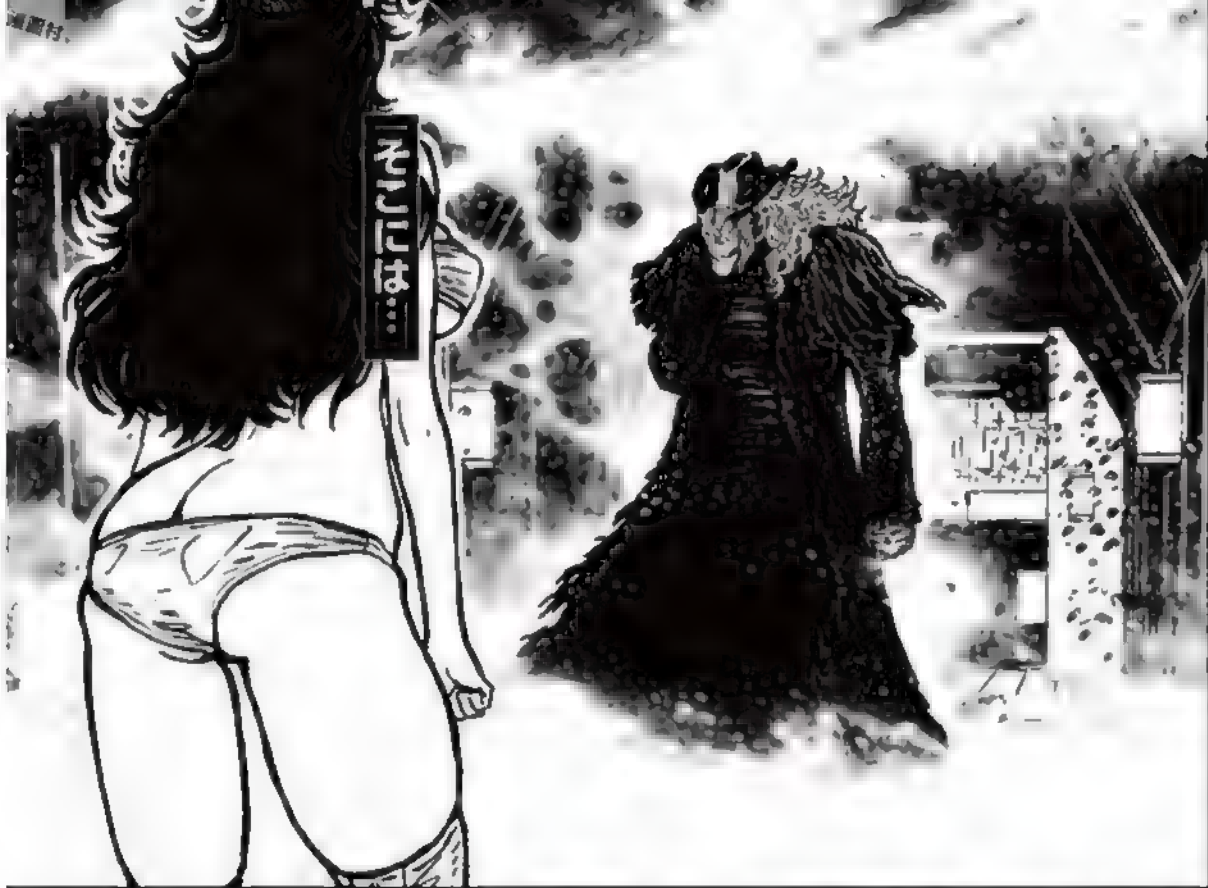
たちまち晴れていく……



リコイルにより汗と一緒に散っていた涙が……

頬を伝う……

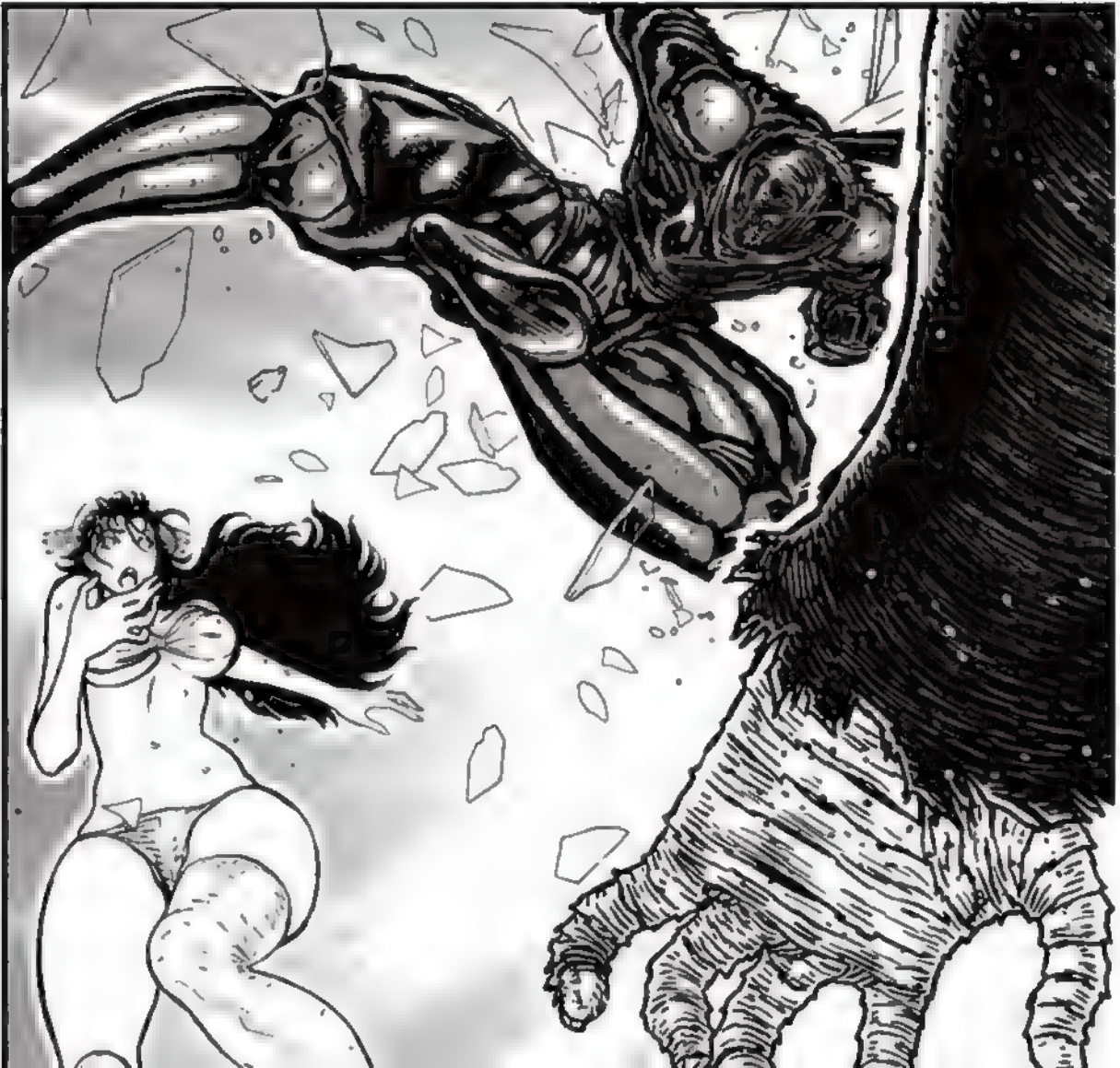




だがその時!



Wasshoi!

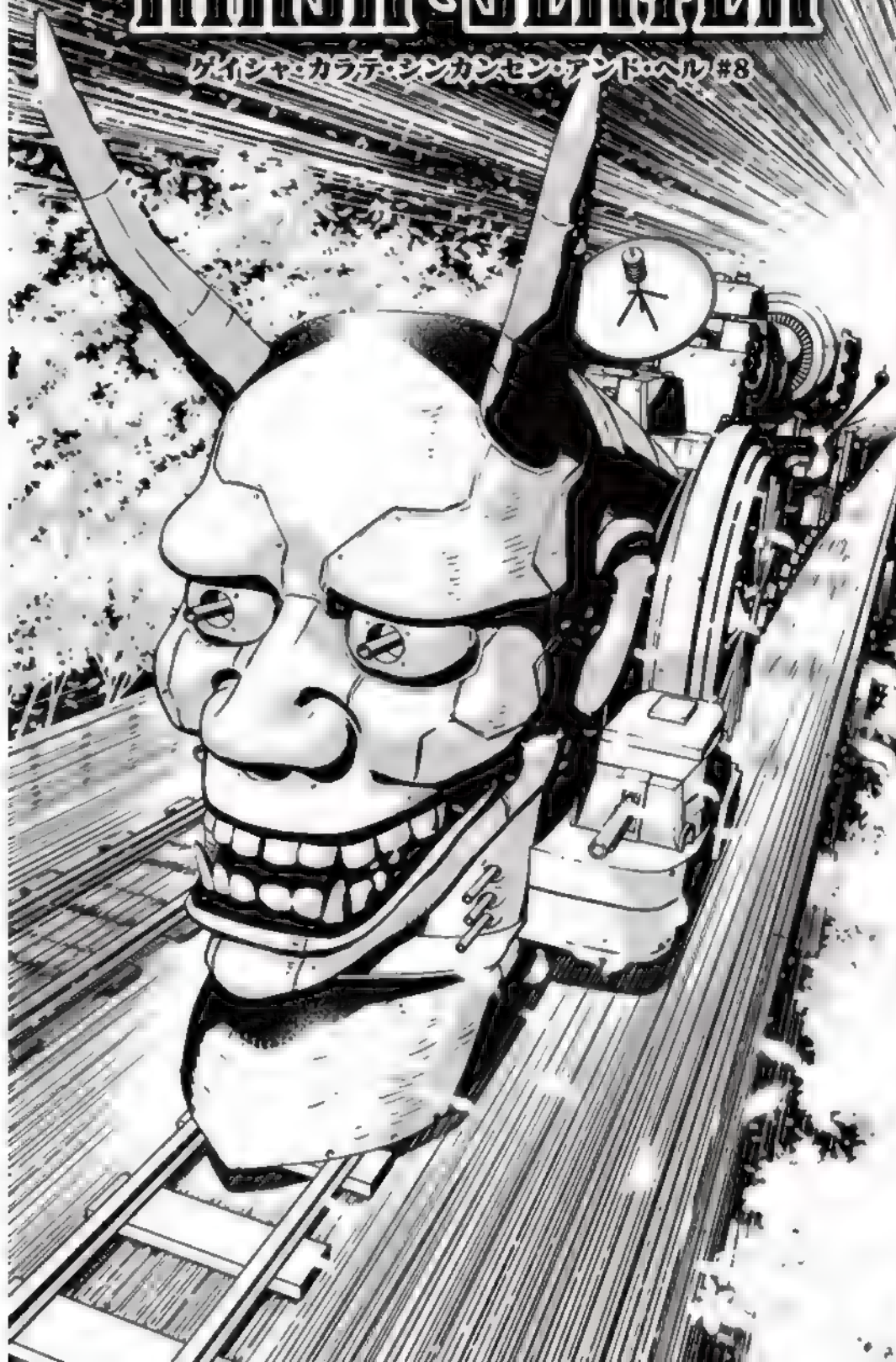




# NINJA SLAYER

ガイシャ・カラテ・シンカンセン・デッド・ヘル #8

暴走新幹線がガイオン・ステーションへ迫るなか…



ダイミョ・クラス車輛では



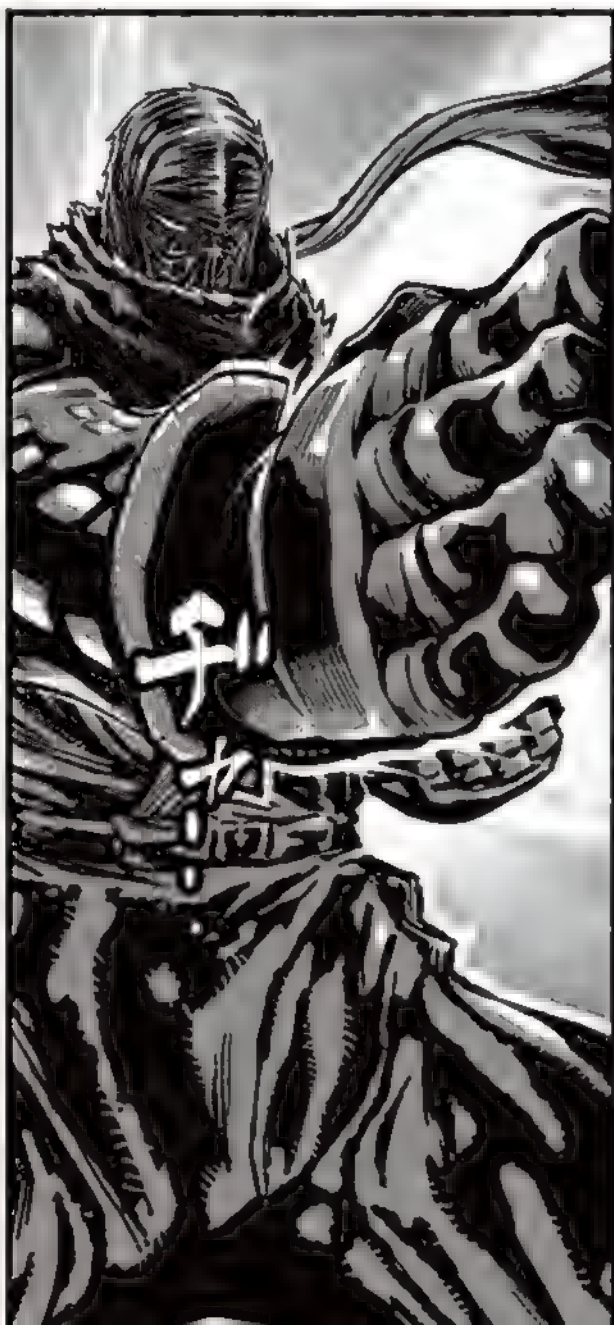
一触即発の

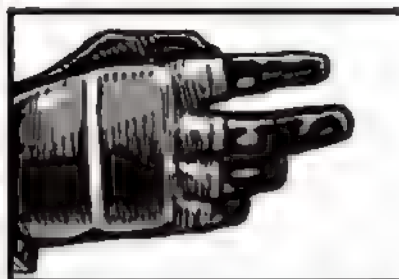
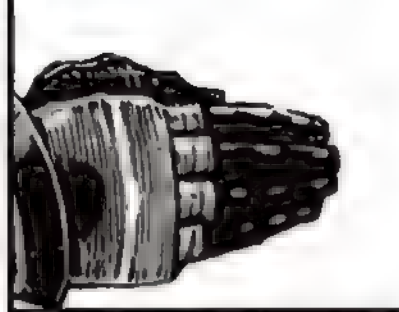


アトモスフィアが支配していた









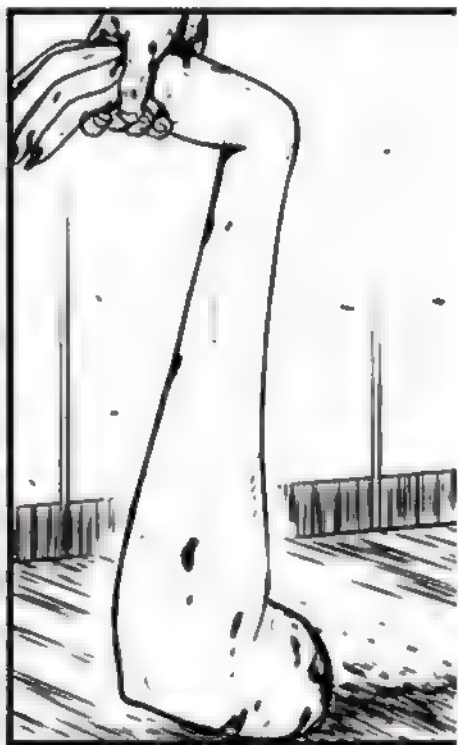




少年特有の純粹な憎惡の目が



ジェノサイドを見ていた



ニンジャに家族を  
殺されたモーターたちの  
声なき憎惡の声を代弁  
するかのうように……



ニンジャ……殺すべし……



……アバ……

言われなくても決意をつけてやるぜ クンシタめ……

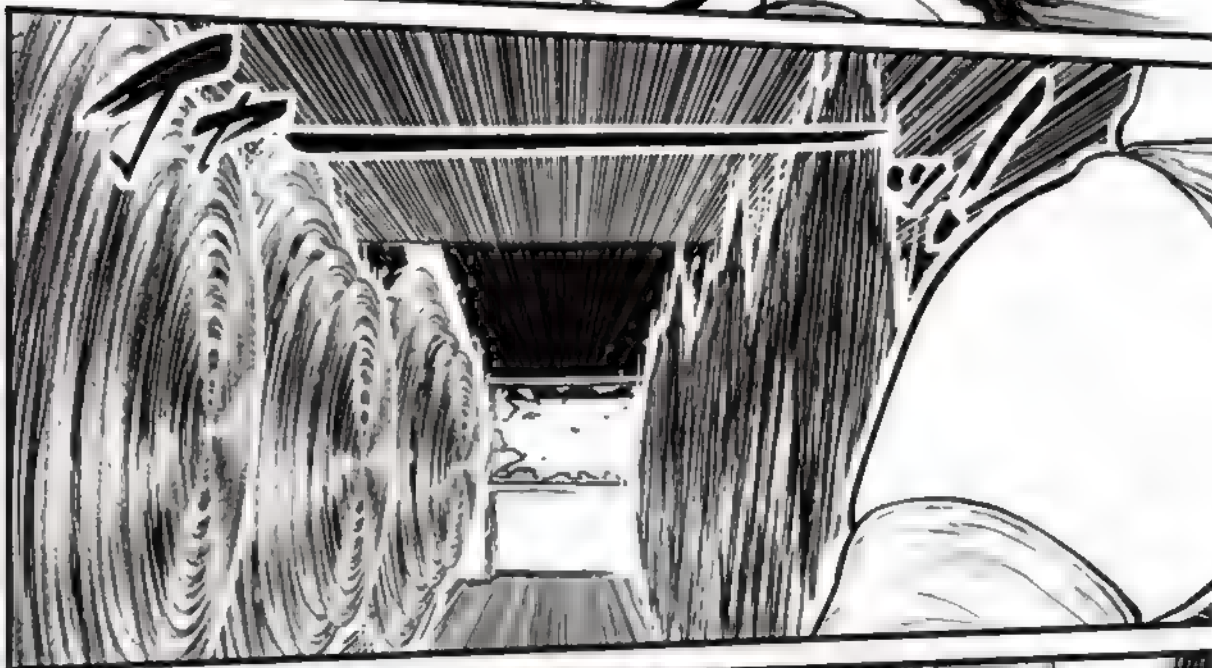
ただし……



表でだ！

カシャーン！

ジェノサイド  
ハサン！  
待って！



サヨナラ！

ユリコさん！

オスモウ！







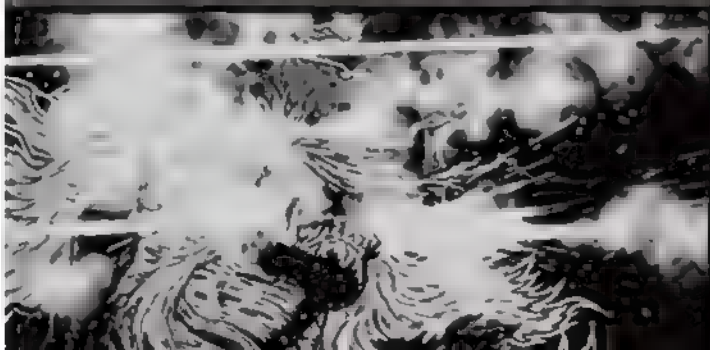
ジェノサイドは自問した



相撲バーか？

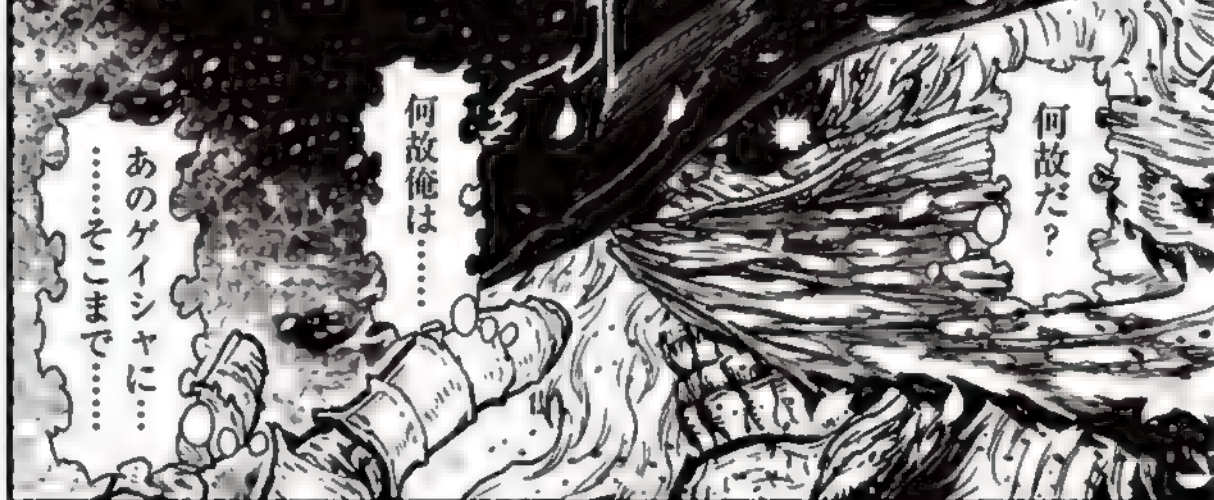
あのゲイシャと  
キョートで落ち合う  
というのか？

先程の銃弾が腐ったニューロンを  
いくらか破壊したのだろうか……



……オスモウだと？

俺は何を言っている？



ユリコがかつて駆け落ちしようとしていた女であるかもしれないという推論は



屋根への着地と共にこぼれ落ちた その腐った脳味噌の欠片と共に……







桜吹雪が彼らの死闘をフートンのように優しく包んだ……





キョート城 観戦の間

失態！

大失態に御座います！

マイロード！



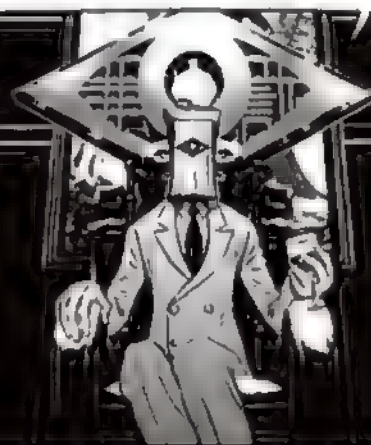
ハラコンは恐れ  
おののきドゲザ

まさかニンジャ  
スレイヤーがあ  
の状況を打破するとは

一体いかなる  
カラテや

ジツを使っ  
たのか……

.....



ロードは恐ろしいほど長い沈黙の後  
平安時代の高貴な言葉で失望を表した





パラゴンよ



ト

ガイオン・ステーション周辺にある

サイバツ・ニンジャを集めよ

ニンジャスレイヤー!!  
サンを出迎えてやれ!

御意!

御意!

マイ  
ロード!



ウェルカム！  
トウ・キョート！  
リパブリック！



それ以外の者は  
ニユーロンを  
焼かれるという

死ぬのかな

おれ

ハハ…

一握りのヤバイ級  
ハッカーだけが  
存在を認識し

え

よく頑張った  
わね 上出来よ

……こって……

電子コトダマ空間…

…なのか？



YENAN

あなたが命を懸けて  
LAN直結して  
いなかったら

NS893便のマザー  
UNIXにアクセス  
できなかったわ

もう大丈夫よ

ジェット噴射は停止

減速装置も  
強制作動させたから

無意識にwhoisコマンドが働き 彼女の頭上にハンドルネームが輝く

あなたはもしや……

伝説のヤバイ級  
ハッカー……

ナンシー・リー・サン

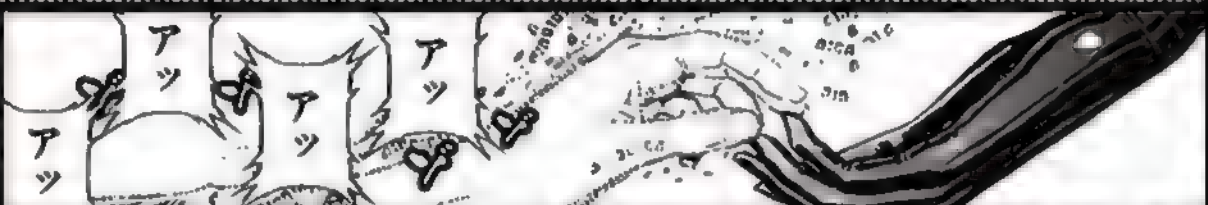




そうよ  
ダテリサン



...限界である...今 ダテのニューロンは焼き切られているのだ...



ナンシーはスゴイ級  
ハツカーですらない  
底辺サイバーゴスが  
見せたその勇気を...

賞賛した



本当に上出来よ





デートを見送り 彼女はログアウトする  
ネオサイタマの某所 重度のガゼン中毒状態にある肉体へ

# キョート・リパブリック アッパーガイオン







間もなくホームにはY&B社の  
NS893便が到着ドスエ……

長旅オツカレサマドス



静かに拍手した



乗客達は安堵し



生きてガイオンの  
地を踏めるのだ……

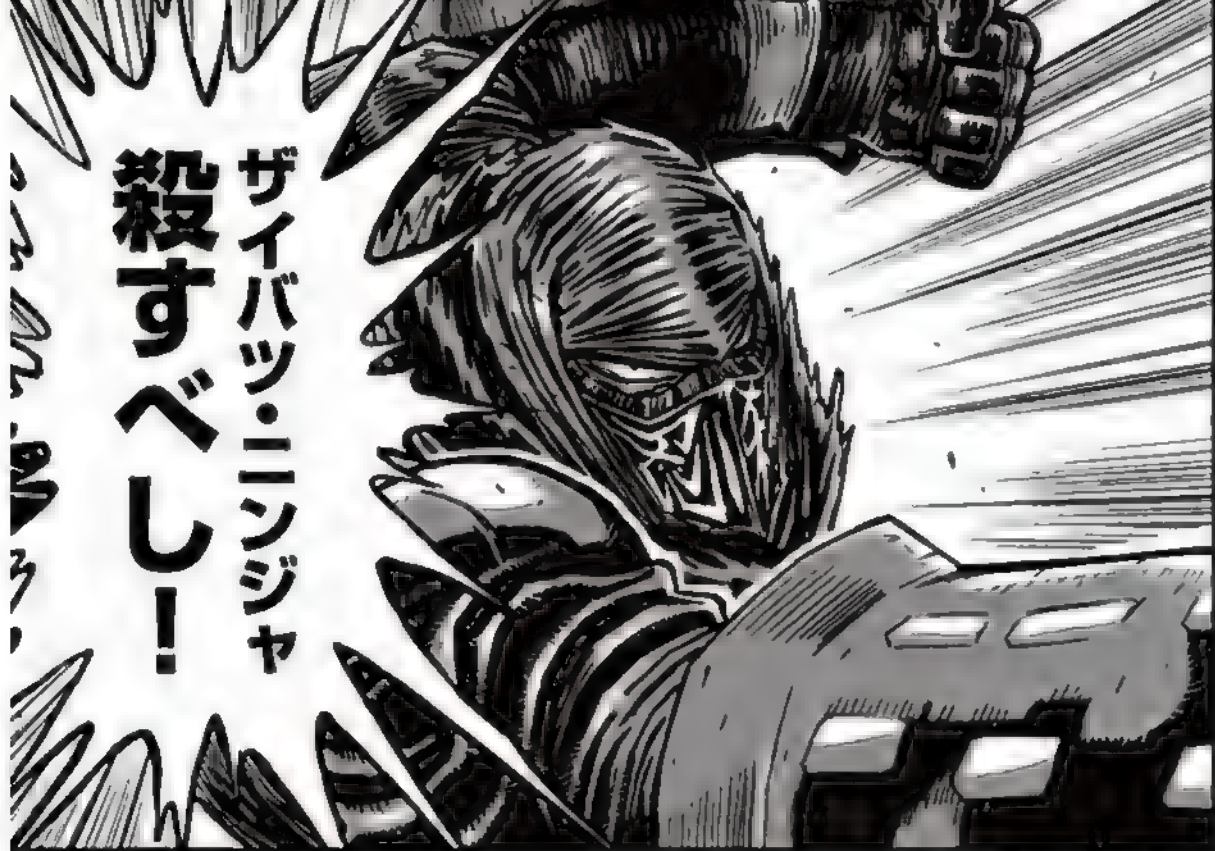
だが一方で このアナウンスは



ニンジャスレイヤー迎撃作戦発動の合図でもあった!







この場を斬り抜けるため それぞれのニンジャたちは  
ガイオンの闇へと消えてゆく...



そこにゲイシャが一人








スモトリの爪弾く曲にゲイシャはリズムを取りはじめた




そうすればあの男が現れる気がしたのだ



しかし、どれほど待ってもあの男は……ジェノサイドは現れない



TVではサイバーゴスがNS893便をハッキングで乗っ取ろうとして死んだ事件がまだ報道されている



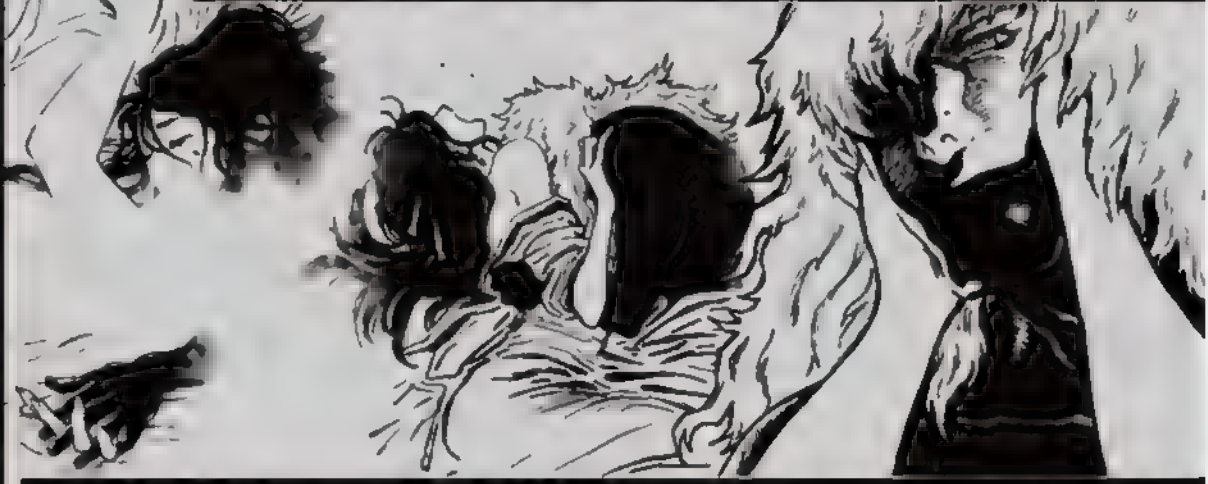
事実は当然隠蔽されたが、数万の命を救ったのはあの三人である  
しかし語っても信じるのは狂人ぐらいのものだろう

オスモウ  
ですって？

まったく  
馬鹿げてるわ



「ジェノサイドの正体が」かつて駆け落ち計画を企てながらも



結局飛行場に現れなかったあの男である事に「ユリコは気付いていない」



死んだはずの男がゾンビーニンジャになって蘇り

偶然ウエスタン相撲バーでめぐり合うなど 狂人ですらも考え付かない話だ

彼女はもはや  
十分に強く

何者への依存も  
必要としない

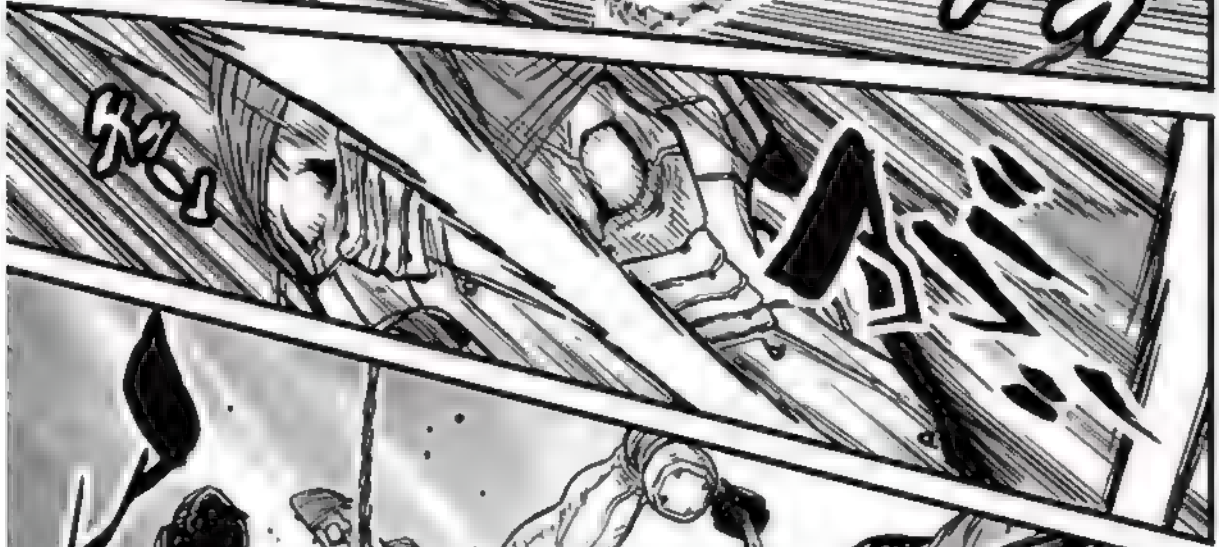
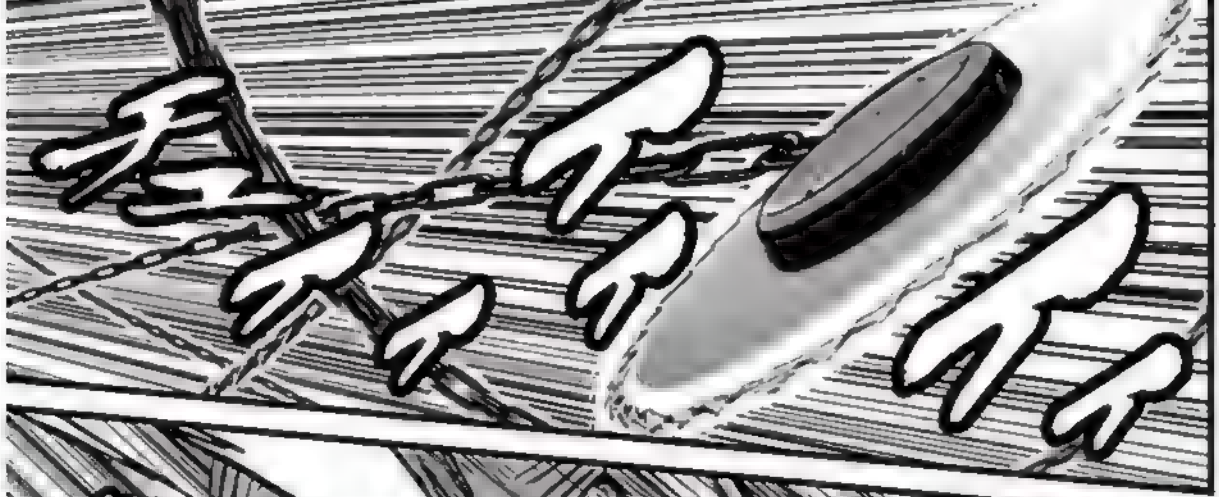
だが彼女はこれから  
相撲バーを巡るだろう

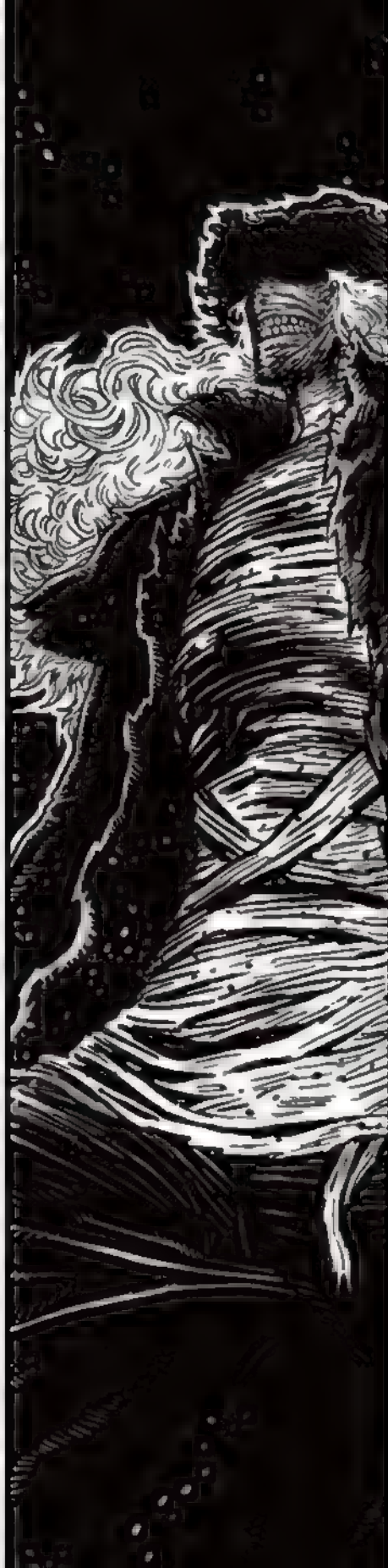


ユリコがいる相撲バーの上方「約二百メートル」アッパーガイオン

















MANGA

STAFF

サクガ

ヨゴ

キャクホン

ユバ

アウスト

ウキ

ライ

トリ

デキ

モ

リ

3D

セイ

サク

リー

ジン

ス

イ

ズ

ミ

ク

ニ

ア

エ

ミ

ミ

ミ

ミ

ミ

ミ

ミ

ミ

ミ

ミ

ミ

ミ

ミ

ミ

角川コミックス・エース

# ニンジャスレイヤー(10) ～ゲイシャ・カラテ・シンカンセン・アンド・ヘル(二)～

原作:ブラッドレー・ボンド+フィリップ・N・モーゼズ

漫画:余湖裕輝

脚本:田畑由秋

原作翻訳・漫画版監修:本兌有+杉ライカ

キャラクターデザイン:わらいなく+余湖裕輝

2016年12月10日 発行

©2012 Ninj@ Entertainment

©Yuki YOGO 2016 ©Yoshiaki TABATA 2016

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました

角川コミックス・エース

『ニンジャスレイヤー(10)～ゲイシャ・カラテ・シンカンセン・アンド・ヘル(二)～』

2016年12月10日初版発行

発行者 青柳昌行

発行 株式会社KADOKAWA

〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3

電話 0570-002-301(カスタマーサポート・ナビダイヤル)

受付時間 9:00～17:00(土日 祝日 年末年始を除く)

編集企画 コミック&キャラクター局

コンプエース編集部

<http://www.kadokawa.co.jp/>

本作品の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信したり、  
ホームページ上に転載したりすることを禁止します。  
また、本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。  
本作品購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず  
本作品を第三者に譲渡することはできません。  
本作品を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に  
予告なく変更される場合があります。  
本作品の内容は、底本発行時の取材・執筆内容に基づきます。

また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体とは関係がございません。

カバーデザイン 高田裕

本文デザイン Bee-Pee





BOOK★WALKER

